

# 第三国集団研修研修評価調査団報告書

—インドネシア、住宅政策—

1992年5月

国際協力事業団  
研修事業部



研 一
J-R
92-705

国際協力事業団

24126

2012/12/27

JICA LIBRARY



1099809(4)

2426



# 目 次

## 序文

1. 研修評価調査団の派遣	1
1-1 調査の背景・経緯	1
1-2 調査団構成	1
1-3 調査行程	1
1-4 主要面談者	2
2. 研修概要と実績	4
2-1 研修実績	4
2-2 コース開催実績	5
2-3 調査団派遣実績	5
2-4 研修員受入実績	6
2-5 日本の協力実績	7
3. 評価	
3-1 評価方法	8
3-2 評価結果	9
3-3 その他の調査結果	15
3-4 総合評価	16
4. まとめと提言	18
別添 1. インドネシア政府組織図（RIHS組織図）	19
2. 評価シート	21
3. クエスチョネア	25
4. レクチャーノートリスト	56
5. 研修員レポートリスト	63
6. 討議議事録（M/D）	72



## 序 文

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤を持つ同一の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国から研修員を受け入れて、より現地事情に適合した適性技術、知識の移転を図るとともに、これにより開発途上国間技術協力（TCDC）の推進を寄与することを目的としています。

インドネシア公共事業省人間居住研究所（RIHS）においては、住宅分野の研究協力を1984年度（昭和59年度）から1986年度（昭和61年度）まで行い、のち、1987年度（昭和62年度）より第三国研修「住宅政策」コースを開始するに至りました。

本報告書は、1987年度（昭和62年度）より5回にわたり実施してきた第三国研修「住宅政策」コースを総合的に評価すべく、1992年（平成4年）2月12日から同年2月21日まで当事業団が派遣し研修評価調査団の調査結果をとりまとめたものです。この報告書が関係各位のさらに深いご理解のもとに、第三国研修のよりよい今後の展開に資することができれば幸いです。

本調査団の派遣に際し、並々ならぬご協力を賜った外務省、建設省及び在インドネシア日本大使館、派遣専門家並びにJICAインドネシア事務所の各位に深い感謝の意を表する次第です。

平成4年5月

国際協力事業団  
研修事業部長 諏訪 龍





## 1. 研修評価調査団の派遣

### 1-1 調査の背景・経緯

開発途上地域では、都市低所得層の住宅確保が大きな課題となっているが、アジア諸国についてもその例外ではなく、このためインドネシア政府は、UNDPの資金援助を得て、「住宅素材開発及び居住研修コース」と題するTCDCコースを1984年より3回にわたり公共事業省研究開発庁傘下の人間居住研究所において実施してきた。

他方、RIHSに対して我が国はJICAによる住宅および建築材料分野における研究開発事業を実施してきた。

かかる背景のもと、1987年の国際居住年がスタートしたことに鑑み、従来RIHSが実施してきたTCDCコースを我が国の協力の成果をふまえたより包括的な研修コースに格上げすべく、我が国の協力を要請越した。

この要請に基づき、1987年（昭和62年）6月に事前調査を実施し、同月R/Dを署名・交換し、インドネシア国・バンドン市に所在するRIHSを実施機関とするJICA第三国研修として、またインドネシア国のTCDCプログラムの一つとして1988年2月（昭和62年度）より開始された。

本調査団は、過去5回実施した協力について、当初計画に照らして研修の活動実績、管理運営状況及び研修効果等について評価を行い、目標の達成度を判定することを主たる目的とし、さらに評価結果から教訓及び提言等を導き出し、今後の協力のあり方や実施方法改善に資するために、1991年2月12日から2月21日までインドネシアに派遣されることとなった。

### 1-2 調査団構成

- |           |       |                              |
|-----------|-------|------------------------------|
| (1) 団長・総括 | 村上 博  | JICA研修事業部研修第一課課長代理           |
| (2) 協力企画  | 椋 周二  | 建設省 住宅局市街地建築課<br>住環境整備室建設専門官 |
| (3) 研修評価  | 貝瀬 亮子 | JICA研修事業部研修一課                |

### 1-3 調査行程

- (1) 派遣期間 平成4年2月12日から2月21日まで（10日間）

(2) 日程

1	2月12日(水)	移動 東京-ジャカルタ 団内会議
2	13日(木)	大使館及びJICA事務所打合せ - バンドン
3	14日(金)	R I H S表敬 第一回評価調査、団内会議
4	15日(土)	第二回評価調査、団内会議
5	16日(日)	休日
6	17日(月)	ファイナライズ 討議録署名
7	18日(火)	- ジャカルタ セカブ表敬、資料整理
8	19日(水)	大使館へ報告、研究開発総局表敬
9	20日(木)	JICA事務所報告、ジャカルタ発
10	21日(金)	東京着

R I H S : 人間居住研究所 (The Research institute of Human Settlements)  
セカブ : 大統領府技術協力調整委員会  
(Cabinet Secretariat of The Republic of Indonesia)

1-4 主要面談者

(1) Cabinet Secretariat (大統領府技術協力調整委員会)

1) Mr. Adik Bantarso Bandoro Head, Asean and TCDC Programme Division Bureau for  
Technical Cooperation

(2) Agency for Research and Development, Ministry of Public Works

(公共事業省研究開発総局)

1) Mr. Bambang Soemitroadi Asistant to the Minister for Construction  
Industrial Development

(3) The Research Institute of Human Settlements (人間居住研究所)

1) Mr. H. R. Sidjadt Acting Director

2) Mr. Zulkarnaen Aksa Head, Administration Division

3) Mr. Victor Leander Head, Documentation and Dissemination Division

4) Mr. Alex Lumanaw Chief, Publication and Library Sub Division

5) Mr. Amari Raksaprawira Chief, Data Processing and Reporting Sub Division

6) Ms. Lien Wewengkang Staff, Documentation and Dissemination Division,  
for Scientific Cooperation

7) Mr. Budiono Sundaru Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering

8) Mr. Johnny F. Subrata Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering

9) Mr. Didiet Arief Akhdiat Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering

10) Mr. Duddy D. Kusumo

Staff, Administration Div. for Foreign Affairs

(4) 日本大使館

1) 石川 裕 一等書記官

(5) JICAインドネシア事務所

1) 金子 節 志 次長

2) 種田 昇 所員

(6) JICA専門家

1) 東 研 司 公共事業省人間居住総局住宅局

2) 川 島 宏 一 住宅担当国務大臣府

3) 稗 田 祐 史 住宅担当国務大臣府

4) 鈴 木 弘 昭 公共事業省研究開発総局人間居住研究所

## 2. 研修概要と実績

### 2-1 研修概要

#### (1) 実施機関

公共事業省 研究開発総局 人間居住研究所

(Institute of Human Settlements, Agency for Research and Development, Ministry of Public Works, (RIHS))

#### (2) R/D等の署名日と協力期限

1987年 6月23日 (M/M) R/D (案) を別添

1987年 9月11日 (R/D) 1987~1991年度

#### (3) 背景

東南アジア諸国では、都市低所得層の住宅の確保が大きな課題となっており、RIHSではUNDPの資金協力を得て住宅素材開発及び居住に関する独自のTCDCプログラムを周辺国を対象に数回にわたり実施してきた。

かかる経験を踏まえ、イ国政府は1987年(昭和62年)の国際居住年の開始に併せ、上記プログラムに住宅供給促進に資する政策論を加えたより高度かつ包括的な第三国研修の協力につきわが国の協力を要請してきた。

この要請に基づき昭和62年6月の事前調査を経て、同年9月R/Dを署名・交換した。

本研修は、住宅政策・建築材料、住宅宅地供給等にかかるRIHSのノウハウを周辺国に技術移転することを目的として昭和62年2月より5ヵ年間の予定で開始された。

#### (4) 研修計画

各年度の研修計画は、前年度の研修実施時に、RIHS側と日本側派遣専門家により立案される。その後インドネシア政府より、研修日程、講義科目等を掲載したGI (General Information) が、割当国に配布される。

#### (5) 主な研修科目

- 1) 住宅政策
- 2) 建築材料
- 3) 住宅宅地供給
- 4) 住宅金融
- 5) フィールド調査
- 6) 経験交流

#### (6) 他との技術協力との関係

- 1) 研究協力-住宅(1984年度~1986年度)

2) 個別専門家派遣(住宅居住政策)(1987年度～)

3) 無償資金協力(1989年度～1991年度)

(7) 参加資格要件

1) 大学卒業程度

2) 25才以上

3) ハウジングの分野での実務経験5年以上

4) 英語が堪能で健康な者

(8) 定員

周辺国 15名

実施国 5名 合計20名

(9) 割当国

バングラデシュ、ビルマ、インド、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリ・ランカ、タイ、ブルネイ、フィジー、パプア・ニューギニア、西サモア

(計14ヵ国)

2-2 コース開催実績

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| (1) 第1回住宅政策コース | 1988年(昭和63年) | 2月20日～3月20日  |
| (2) 第2回住宅政策コース | 1988年(昭和63年) | 11月20日～12月4日 |
| (3) 第3回住宅政策コース | 1989年(平成元年)  | 11月1日～12月3日  |
| (4) 第4回住宅政策コース | 1990年(平成2年)  | 11月5日～12月8日  |
| (5) 第5回住宅政策コース | 1991年(平成3年)  | 10月8日～11月10日 |

2-3 調査団派遣実績

- (1) 事前調査 1987年6月15日～6月25日

2-4 研修員受入実績

(1) 応募人数と参加人数との比較 (国別、年度別)

年度 国別	計		1987		1988		1989		1990		1991	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
パングラディシュ	11	4	5	2	2	0			2	1	2	1
ブルネイ	2	1	1				1	1				
中国	6	4			2	1			2	1	1	1
フィジー	3	2	1	1			1	1	1	1		
インド	4	4			2	2			1	1	1	1
ミャンマー	6	4					2	2	2	1	2	1
マレーシア	10	7	4	2	1	1	2	2	2	1	1	1
ネパール	5	4	1	1	1	1	1		1	1	1	1
パキスタン	6	4	1	1					1	1	4	2
フィリピン	10	9	2	2	4	3	2	2	1	1	1	1
P N G	3	3					1	1	1	1	1	1
シンガポール												
スリ・ランカ	5	4	1	1	1	1	1	1	1		1	1
タイ	7	6	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
西サモア	2	2	1	1			1		1	1		
①周辺国小計	81	58	19	13	15	10	13	11	17	12	16	12
②実施国(インドネシア)	47	42	4	4	12	10	12	12	8	8	11	8
合計(①+②)	127	100	23	17	27	20	25	23	25	20	27	20

A : 応募人数

B : 参加人数

2-5 日本側の実績

(1) 短期専門家派遣実績 (13名)

年度	氏名	派遣期間	所属先
1987	1. 石坂公一	1988. 1. 20~1988. 3. 22	建設省建築研究所
	2. 渡辺俊一	1988. 2. 21~1988. 3. 1	建設省建築研究所
	3. 高橋泰一	1988. 2. 21~1988. 3. 5	建設省建築研究所
1988	1. 石見利勝	1988. 11. 6~1989. 12. 5	筑波大学
	2. 長峯晴	1988. 11. 6~1989. 11. 19	名古屋大学
	3. 楡木夫堯	1988. 11. 21~1989. 12. 5	建設省建築研究所
1989	1. 石坂公一	1989. 11. 1~1989. 12. 5	建設省建築研究所
	2. 高橋泰一	1989. 11. 1~1989. 11. 19	建設省建築研究所
	3. 石見利勝	1989. 11. 19~1989. 12. 3	筑波大学
1990	1. 河中俊	1990. 11. 1~1990. 11. 21	建設省建築研究所
	2. 石見利勝	1990. 11. 9~1990. 11. 8	筑波大学
1991	1. 小林英之	1991. 10. 11~1991. 11. 13	建設省建築研究所
	2. 須田松次郎	1991. 10. 15~1991. 11. 13	建設省建築研究所

(2) カウンターパート研修員実績 (5名)

年度	氏名	研修科目	研修期間	研修機関
1987	1. Sahat Mulia Ritanga	住宅政策	1988. 6. 7 ~1988. 6. 19	建設省建築研究所
1988	1. Dedi Suwandi Partadinata	住宅政策	1988. 7. 17 ~1988. 9. 10	建設省建築研究所
1989	1. Saleh	住宅政策	1989. 10. 19 ~1989. 12. 13	建設省建築研究所
1990	1. なし			建設省建築研究所
1991	1. Anita Firmanti	住宅政策	1991. 8. 16 ~1991. 11. 1	建設省建築研究所
	2. Didiet Arief Akhdiat	住宅政策	1991. 10. 17 ~1991. 12. 21	

### 3. 評 価

#### 3-1 評価方法

##### (1) 評価方針

研修受入事業案件の評価ガイドラインに沿い、これまで実施した協力について当初計画に照らし、研修の活動実績、管理運営状況及び研修効果等についての評価を行った。

評価項目は以下のとおりである。

##### 1) コースニーズ（ニーズの継続性）

##### 2) コース目標達成状況

(ア) インプット（日本側及び相手側の投入実績）

(イ) アウトプット（研修員受入数、到達目標達成度、研修結果の活用状況）

##### 3) 計画（当初コースの設定）の妥当性

(ア) 到達目標

(イ) 研修期間・時期

(ウ) 応募資格

(エ) 定員・割当国

(オ) カリキュラム

(カ) 講師陣

##### 4) 研修実施体制

(ア) 業務運営体制（RIHS・SETKABによる予算執行・管理、G、I、送付等）

(イ) コース運営体制（講師、施設・機材・教材・カリキュラムの見直し状況等）

(ウ) 自立的発展性（物的、技術的、組織的、財務的）

##### 5) 今後の協力量針

##### 6) 総合評価及び提言

##### (2) 評価方法

事前調査では1987年度より1991年度までの計5回のコース実施に関する「イ」側および日本側の記録を調査し、分析、検討を行った。

また、現地調査では、R/Dを踏まえ、研修実施機関との協議を行った。

具体的な評価方法は、以下のとおりである。

##### 1) 事前調査

・コースレポートの分析

・派遣専門家報告書の分析

・クエスチョネア（実施機関及び研修員所属機関宛）の送付

##### 2) 現地調査

・クエスチョネア回収・面談調査及び要望のヒアリング（関係機関・参加研



修員)

- ・実施機関の自己評価及び要望のヒアリング
- ・評価結果確定、ミニッツ署名

### 3-2 評価結果

各評価項目について、5回分の実績を別添評価シートにまとめた。これに基づきRIHSとの合同評価の結果は以下のとおりである。

#### (1) コースニーズ

毎年の応募状況から判断すると応募者は毎年定員を平均5人ほど上回っておりコースニーズは高いと思われる。

#### (2) コース目標達成状況

##### 1) インプット (別添評価シート参照)

###### ア) 経費

日本側の研修経費は、各回平均11,421千円が支出されており、5回合計57,107千円であった。

インドネシア側の研修経費はSETKAB及び公共事業省より、毎年ほぼ同額が支出されており、本研修の運営において、金額、内容ともに特に問題は見られなかった。

###### イ) 専門家の派遣

過去5回のコースで、13名の専門家を派遣し、講義、研修指導、カウンターパートへの指導等を行うことにより、本研修の効果的な実施に大きく貢献した。時として、「イ」側と日本側との間のコーディネーター的役割を果たしていたが、講義だけでなく、こうした役回りを行う人がいて、コースの円滑な実施ができたとも言える。

本来的には、日本側からの派遣専門家なしでコースの実施ができることが望ましいのかもしれないが、カウンターパートの育成、特にRIHS内の講師レベルのスタッフの育成という点においては、未だ不十分であり、今後の課題であろう。

また、コース実施における科目の設定、講師の選定、コースの進め方等について客観的に観察ができ、意見を述べられる立場の専門家がどうしても必要であると思われる。

###### ウ) カウンターパートの本邦受入

過去5年間で計5名のカウンターパートを受入れた。これら研修員は、帰国後、本コースの研修実施に積極的に参画している。

##### 2) アウトプット

###### ア) 到達目標達成度

研修の達成度をチェックするためのテストあるいは、研修科目についてのレポートの提

出といったものはなされていない。それは、研修のテーマ自体が「住宅政策」といった社会的・経済的側面をもった行政分野の事柄であり、テストといったものになじみずらい面があるためである。

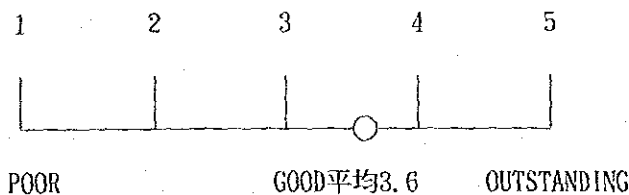
研修の達成度は、研修で得た知識、情報あるいは経験をそれぞれの国の住宅対策にどのように生かすかである。その点から見ると研修生に対する追跡的アンケートの実施は有効である。

#### イ) アンケート結果

このアンケートは第5回までの全参加研修員100名を対象に行われ、40名分のアンケートを回収した。質問事項及び回答は以下とおりである。

- Q1 このコースで修得した結果に満足しているか。  
Q2 このコースについて十分な情報を得ているか。また、日本の技術協力の一環としてJICAの支援があることを理解しているか。  
Q3 今後、このコースに研修員を参加させたいか。  
Q4 このコースを5段階で評価するといくらか。

- A1 ほぼ全員が満足していると回答している。  
A2 ほぼ全員が十分な情報を得ていると回答している。JICAの支援に対してもほぼ全員が理解していた。  
A3 ほぼ全員がこのコースに対し研修員を参加させたいと回答している。  
A4 1名が1、5名が3、34名が3または4をマークしていたが、解答者の平均は3.6であった。



その他の主なコメントとしては以下のとおりである。

- ・現在の所属先とR I H S及び日本との情報交換を行いたい。
- ・テーマ別のコースを設定してほしい。
- ・ケーススタディ、視察をもっと増やしてほしい。
- ・アドバンスコースがあれば参加したい。

- ・コースの継続を希望する。
- ・日本でのコースにも参加したい。

アンケート結果によると、参加研修員のほぼ全員がこの第三国研修に対し、高い評価をしており、研修効果は高いと判断する。コメントの中でも様々な要望が出されており、今後のニーズも高いと思われる。

「住宅政策」コースの性格上、一時的な研修で知識を修得するというよりは、情報交換を行い、それぞれの国に生かすことが最終的な研修効果であり、アンケート結果から十分に研修員に自覚されていると判断する。

### (3) 計画の妥当性

#### 1) 到達目標

各コース終了後、研修員にアンケートを実施しているが、過半数の研修員が目的意識を鮮明にもっており、また、研修内容と目的については8割が合致していたと答えている。以上の結果より、到達目標は達成されたと判断する。

#### 2) 研修期間、時期、応募資格

コース目的の達成度が高かったことから、これらの当初設定内容は適当であったと判断する。

#### 3) 定員・割当国

インドネシアからの参加者が割り当てを上回っているが、これは、周辺国研修員の選考の際、応募資格の不足者が発生したため、それを充足させたものである。なお、イ研修員の経費についてはイ側が負担していることを確認した。

#### 4) カリキュラム

・第1回では政策論を中心としたカリキュラムであったが、研修員からワークショップや討論の時間を多くしてほしいとの要望が出され、第2回目以降講義と実習の時間配分を同量にした。研修員のアンケートでは、カリキュラムの内容・密度につき過半数が適切もしくはそれ以上と解答しており、カリキュラムの構成は妥当であったと判断する。

・講義科目については、以下に5回の内容を分析する。

① 全体としては、定型化された講義科目の構成とはなっていない。その理由としては、「住宅政策」というテーマ自体が、ハードな特化されたものでもなく、また、それぞれの国の社会・経済的な側面が大きく影響するものであり、学問的に体系立ったものでもないことによるものと考えられる。従って、第三国研修実施国、参加国及び援助国での経験と第三国研修そのものの実施を通して試行錯誤を経ながら、一定の方向づけ、あるいは定型化がなされる性格のものと考えられるべきである。

② こうした中で、住宅政策（狭義）、住宅金融、K I P事業、住民参加・民間の役割と

表1 第1回～第5回コース講義科目

	第1回 (1988年2～3月)	第2回 (1988年11～12月)	第3回 (1989年11～12月)	第4回 (1990年11～12月)	第5回 (1991年10～11月)
住宅計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅統計分析</li> <li>住宅需要予測</li> <li>住宅供給計画</li> <li>住宅金融</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「I」国の住宅開発</li> <li>住宅政策及び計画</li> <li>「I」国の住宅金融</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅開発政策</li> <li>住宅政策</li> <li>住宅における中間技術</li> <li>「I」国の住宅金融</li> <li>住宅政策のための住宅統計分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅開発政策</li> <li>住宅政策</li> <li>住宅における中間技術</li> <li>「I」国の住宅金融</li> <li>住宅政策のための住宅統計分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅開発政策</li> <li>住宅政策</li> <li>参加国の住宅技術</li> <li>「I」国の住宅金融</li> <li>日本の住宅政策と住宅産業</li> </ul>
建材開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>建材と開発上の留意点</li> <li>建材開発評価</li> <li>廃棄建材の活用</li> <li>インサイアにおける小規模建材開発産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「I」国のロースト住宅のための建材開発</li> <li>建材の品質と規格</li> <li>建材とロースト住宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建材開発</li> <li>住宅のための建材開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建材開発</li> <li>住宅のための建材開発</li> </ul>	
住宅関係事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>KIP-インサイアの都市住宅ストック改善における役割</li> <li>農村・都市開発</li> <li>住民参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大都市周辺開発</li> <li>KIP-オカダの事例紹介</li> <li>「I」国の総合都市開発</li> <li>農村・都市開発</li> <li>「I」国の住宅開発における民間の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KIPの紹介(スラバ)</li> <li>例、スラバの住宅紹介</li> <li>住民参加</li> <li>住宅分野における民間の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KIPの紹介(スラバ)</li> <li>例、スラバの住宅事情紹介</li> <li>住民参加</li> <li>住宅分野における民間の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KIPの紹介(スラバ)</li> <li>例の住宅・伝統建築の紹介</li> <li>住宅分野、開発における民間の役割</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準と規制</li> <li>土地対策</li> <li>宅地供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地対策</li> <li>セナ(住宅金融、住民参加等)</li> <li>9-クジョツ(地方定住)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合都市開発</li> <li>バンドンの都市開発</li> <li>都市空間開発</li> <li>協同開発</li> <li>誘導的土地開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合都市開発</li> <li>バンドンの都市開発</li> <li>都市空間開発</li> <li>協同開発</li> <li>誘導的土地開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅と災害の地域性</li> <li>協同住宅</li> <li>ル-研究</li> </ul>
視察	<ul style="list-style-type: none"> <li>バンドン、例、ジョグジャカル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オカダ、バンドン、例、ジョグジャカル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オカダ、バンドン、スラバ、例、ジョグジャカル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オカダ、バンドン、スラバ、例、ジョグジャカル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オカダ、バンドン、スラバ、例、ジョグジャカル</li> </ul>

いった科目は共通したものとなっている。

ア. 住宅政策（狭義）は、いわば国としての基本的フレームを示すものであり、時にはイ国のみならず、日本あるいは研修参加各国の住宅政策が説明されている。

イ. 住宅金融は、参加者からも非常に興味をもたれた科目である。住宅の質の改善、向上を図るという住宅政策の目的を達成するためには、もちろん公共側の直接住宅供給も重要なことであるが、量的に言えば大半は民間の経済活動にゆだねているわけであり、その点からも、住宅金融は、非常に重要なことであるが、一般的に開発途上国においても、住宅金融は十分には育っていない状況にあることから、共通点に興味を持たれたものと考えられる。

ウ. K I P（集落改良）事業は、イ国におけるBasic Human Needsとしての住宅政策上、最も重点を置かれて実施されてきたものであり、また、効果をあげているものであることから、国際的にも有名な事業である。

エ. 住民参加あるいは、民間の役割については、住宅活動の大半が民間によるものであり、住宅金融と同様に住宅政策としてはいかにコントロールしていくかが重要な事柄でもあることから、共通な科目になったものと思われる。

③ また、建材開発については、徐々に講義科目数が減少している。特にローコスト住宅の普及という意味では、建材開発が重要ではあるが、基本的には民間主導によるものであり、いわば、産業政策の問題であること、あるいは、未だ公共側で、効果的・実務的な建材開発の実績が少ないといった要因によるものと考えられる。

#### (4) 研修実施体制

##### 1) 業務運営体制

- ・ R I H Sでは、本コース以外にも第三国研修「地震工学」コースや、イ国内の研修コースも実施しており、業務運営管理能力のノウハウを蓄積している。受入手続を含めた本コースの運営についても適当であったと判断する。

- ・ 生活環境について

第5回コースでは、新宿舎が完成したこともあり、前回まで一部研修員より指摘のあった周辺国研修員とイ研修員の宿舎が別であったことによる意見交換の不自由さや、生活手当支給額の差等の問題点は改善され、研修員には好評であった。

食事に関しては、R I H S内の食堂の運営は、職員の家族によって行われており、アットホームな印象を受け、研修員・職員ともに好評であった。

##### 2) コース運営体制

###### ア) 講師

インドネシア側講師及び日本側講師の実績は、表2に示すとおりである。研修実施機関

のRIHS (The Research Institute of Human Settlements)は、公共事業省研究開発総局の下部機関であるが、表2においては、RIHS職員とそれ以外の公共事業省の職員とは分けている。

全体としてみると、RIHS職員の講師は88人中11名で約12%となっている。また経年的に見ると減少している。このことの背景としては、そもそもテーマが「住宅政策」であることから、講師の多くを住宅省、公共事業省、住宅公団、あるいは地方公共団体に頼らざるを得なかったことがある。もう一つは、当該第三国研修の進め方を単なる講義ではなく、参加者同士がお互いの経験等を出し合っ意見交換を行うというスタイルにシフトしているが、そのために議論の進行役としてファシリテーターといった役割をRIHS職員が担っていたということもある。

しかしながら、実施機関としてより一層の講師としての参加が望まれるところであり、そのために、講師の養成ということが十分に考えられるべきであろう。

表2 インドネシア側講師と日本側講師の実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
インドネシア側	14	12	14	17	11
住宅省	2	1	2	1	2
公共事業省	2	3	2	3	1
RIHS	4	2	2	2	1
大学	1	3	5	6	1
その他	5	3	3	5	6
日本側	5	4	4	5	2
第三国研修	3	4	3	2	2
その他	2	0	1	3	0

#### イ) 教材

5回の第三国研修を通して、計113のレクチャーノートが教材として用意された。これらのレクチャーノートはコース終了後、合本・製本されて保存・公開されており、RIHSの貴重な資料となっている。

また、参加者からもカントリー・レポート等計145のペーパーが提出されている。

しかしながら、コースの中にグループ研究といった科目が設けられており、研修生は自分で資料を調べる必要性が生じたものの、RIHSに英文の関係資料が十分でないこともあって、イ側からは今後の研修のために、英文の教材、資料の整備を一層行う必要が強調された。

表3 教材等の推移

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	計
レクチャーノート	26	28	21	23	15	113
カントリー・レポート等	33	40	28	25	19	145

ウ) 資機材

第1回のコースでは、ビデオレコーダー、モニター、ビデオカメラ等が供与されたが、RIHSの機材であるマイク、スピーカーが時々故障をしている。

第3回のコースにおいて、大型ビデオプロジェクターが供与され、大きな研修効果を上げている。

第5回のコースは、JICA無償協力によって建設された研究所において実施されたが、研究所移転時に機材の盗難が数件発生したため、小型ビデオによる視聴となり、不自由であった。また、パソコンが新研究所に供与され効果を上げている。この他にも、ビデオ編集機材等も整備され、今後の研修運営に当たっては、無償協力により整備された施設・機材が相当効果を上げていると考えられるとともに、逆に言えば、それらの有効利用を行う必要がある。

3-3 その他の調査結果

(1) 先方要望事項

イ側から日本側に対し、現在日本側に要請済の第三国研修2件(地震工学関連、住宅関連)の実施について強い要望が出された。なおSETKABでは上記コースについて予算化済みであった。

先方優先順位は以下のとおりである。

- (優先順位) ① 予算が厳しいのみであれば、両コースの規模を縮小し、両コースとも実施する。
- ② どちらか1コースのみの場合は、平成3年度にとぎれ、かつ2年越しの要請である地震工学関連を優先する。
- ③ 上記②にもかかわらず、日本側の都合で住宅関連となっても、やむを得ない。

従来コースと新規要請コースとの比較は以下のとおりである。

項目	従来コース	新規要請コース
タイトル	International Advanced Course on Housing Strategies for the Urban Low Income Group	International Advanced Course on Integrated Technology for Housing Strategies
実施機関	人間居住研究所 (RIHS)	左に同じ
目的	a. 日本の研究協力によってRIHSに蓄積された、住宅及び建材の分野における知識等をASEAN等近隣諸国に広めること b. 国際居住年の活動に参加すること	a. 住宅政策に係る開発手法、規制、金融、建材開発、防火等の総合的技術を紹介すること b. 他国住宅問題やその対策についての情報交換や議論を通じて住宅問題の分析のための知識向上に資すること
実施期間	1カ月	左に同じ
割当国		従来コースに中国、タンザニアを追加
研修員数	周辺国 15、イ国 5	周辺国 12、イ国 12
研修内容	住宅政策の一般論	住宅政策に係る技術論 都市住宅問題の観点を除外 RIHSの施設・機材・研究成果の更なる活用

(2) 他の先進国からの援助

公共事業省からの意見聴取によると、インドネシアの住宅分野における他先進国からの援助としては、オランダのNGOによる研修員招へい及びベルギーの大学への短期留学（2週間程度）が現在実施されている。

(3) 周辺国への協力

RIHS及び公共事業省からの意見聴取によると、現在、インドネシアでは、スリランカ・マレーシア・ヴィエトナム・中国等との技術交流が行われている。ただし、特別な予算化はないとの情報を得た。

3-4 総合評価

- (1) 5年間の研修修了者は累積100名で受入実績は良好であった。
- (2) RIHSの研修実施体制は確立されていた。また、研修員受入事務はSETKABが予算と管理を総括し、公共事業省研究開発総局と傘下のRIHSがインドネシア人研修員受入れ事務と研修運営を担当し分業体制をとった事は効率的であった。



- (3) 受入費、研修実施経費のそれぞれについてイ側予算は毎年コンスタントに付けられており、予算措置上の問題は特に見られなかった。
- (4) 教材開発については、R I H Sには基盤から応用までの一連のテキストが整備されていた。しかし、それらはインドネシア語で書かれたものが多く、今後は英語版テキストの充実を図る余地がある。
- (5) 評価の実施状況

R I H Sでの研修コースの評価実施状況は良好であった。コースレポートや講義録等も毎回製本され、保管状況に問題はなかった。今回の評価調査に関しても、調査前に送付したクエスチョネア回答をほぼ完璧な形にまとめ、調査団派遣前までに結果回答なされた。このことは、調査を効果的に実施する際に非常に役に立った。クエスチョネア回答の作成を補助された日本人専門家の協力もさることながら、R I H Sの評価調査に対する熱意を感じた。

- (6) 自立的発展性について

#### 1) 物的・技術的側面

物質的な面において、1991年後半から新施設及び機材が整備され、使用を開始しており、自立発展の条件は整っている。一方、技術的な面においては、各分野とも着実に進歩しているものの、全体的には自立的発展の段階とはいえ、整備された施設・機材を有効に活用しつつ、イ国の社会・経済状況に則した適性技術の開発を行っていく必要があると思料される。

#### 2) 組織的側面

第三国研修はイ国のT C D Cプログラムの一つとして位置付けられており、その実施機関としてのR I H Sの実績及びその役割は高く評価されている。また新施設整備を機会に組織的にも充実してきている。また、若手の研究スタッフも多く育成されてきているものの中核的な指導者役割を果たすには不十分である。今後、若手研究スタッフの自立を促進し、更にレベルアップすることが望まれる。

#### 3) 財政的側面

R I H Sの厳しい予算状況、及び過去の第三国研修における予算規模の状況から、当面近い将来の自立発展ができる段階にはないと思料される。

#### 4. ま と め と 提 言

(1) 本件第三国研修は、毎年定員を上回って応募があり、かつ、コース終了時及び帰国時における参加者の評価も良く、全般的に成功裡に終了したといえる。

##### (2) 提言

- 1) 人間居住研究所のスタッフのノウハウ及び施設をより有効に活用するためには、研修内容を同研究所の主要な活動範囲である『技術的側面』に重点をおくことが望ましい。
- 2) 周辺国からの参加者に共通するニーズには、わが国からの講師による先端技術の紹介があること、また先方スタッフの技術面、運営面における強化・育成が必要であること等により、人間居住研究所への第三国研修協力に際して今しばらく専門家派遣、C/P受入で補充することが必要であろう。
- 3) わが国による研究協力(1984年～1986年)、個別専門家派遣(1987年～)、無償資金協力(建物、施設1991年)による協力結果との連携による協力の相乗効果が期待できる住宅分野の第三国研修を何らかの形で今後継続的に実施されることが望ましい。
- 4) 現状のシステムでは協力困難であるところの国外講師の必要性がしばしば研修実施機関側より要望されるが、協力困難な理由付けが予算的側面のみで説明することに苦しいものがあり、今後わが方でも第三国研修の位置付けの明確化を含めさらに検討を重ねていくことが望ましい。
- 5) 今後の第三国研修を開始する場合には、実施国側、日本側の各々のインプット及び、期待されるアウトプットを、より明確にしておくことにより一層効果的な研修実施が可能となり、また評価を容易とし、ひいてはフィードバックも適切になされ易くなることが期待される。



I. コースニーズ

1. コース設定時に把握されたニーズの内容	・RIHSが84年度より3回にわたり実施したTCDCコース「TRAINING COURSE ON BUILDING MATERIALS DEVELOPMENT AND HUMAN SETTLEMENT」に対しては、ESCAP 諸国12か国及びアフリカ6か国よりの参加実績はある由。特に86年度には、G.I 発送12か国にたいし応募が9か国14名という状況で住宅分野における周辺国の関心の高さがうかがえる。 ・RIHSはUNIDO・UNDP研修プログラム(RENAS:REGIONAL NETWORK ON BUILDING MATERIALS TECHNOLOGY AND CONSTRUCTION SYSTEM)を通じアジア各国の研修員の受入を随時行なっているところ、住宅供給・素材分野における周辺国のニーズは十分あるものと資料される。				
2. コースニーズの変化	87 (2/20~3/20)	88 (11/5~12/4)	89 (11/1~12/3)	90 (11/5~12/8)	91 (10/8~11/10)
応募国数÷割当国数 (%)	10/15=67%	8/15=67%	10/15=67%	13/15=67%	11/15=67%
応募者数÷研修員受入数(倍)	23/17=1.35	27/20=1.35	25/23=1.09	25/20=1.25	27/20=1.35
(2) 定員充足率	85%	100%	120%	100%	100%

II. コース目標達成度

1. インプットの達成状況	87	88	89	90	91	合計
(1) 日本側 研修経費	9,168 千円 (US\$68,489)	10,269千円 (US\$76,064)	11,109 千円 (US\$78,670)	12,743千円 (US\$98,694)	13,818千円	57,107千円
専門家派遣	渡辺 俊一(2.21-3.01) 高橋 泰一(2.21-3.05) 石坂 公一(1.20-3.22)	石見 利勝(11.6-12.05) 長峯 晴夫(11.6-11.19) 楡木 効(11.21-12.5)	石坂 公一(11.01-12.05) 高橋 泰一(11.01-11.19) 石見 利勝(11.19-12.03)	河中 俊 (11.01-11.21) 石見 利勝(11.19-12.08)	須田 松次郎(10.15-11.13) 小林 英之 (10.11-11.13)	
機材	PALビデオカメラ-b2, 3WAYモニター 1 編集用 リモートコントローラ 1、 8ミリビデオカメラ 1、PALビデオカメラ-U 1、PALビデオカメラ 1、ケーブル式 (現) (専)		大型ビデオプロジェクター (現地) (専)		MS. ANITA FIRMANTI (8.16-11.01)	
C/P 本邦受入れ	MR SAHAT MULIA RITANGA (6.07-8.15)	MR DEDI SUWANDI PARTADINATA(7.17-9.10)	MR SALEH (10.19-12.13)		MR DIDDIET AKIEF AKHDIAT (10.17-12.21)	
(2) 相手国側 研修経費	Rp.10,054,043 (RIHS) Rp. 9,857,000 (SETKAB)	Rp.9,987,000 (RIHS) Rp.10,144,000 (SETKAB)	Rp.8,902,700 (RIHS) Rp.7,023,000 (SETKAB)	Rp.9,015,500 (RIHS) Rp.8,195,000 (SETKAB)	Rp.9,924,350 (RIHS) Rp.10,396,000 (SETKAB)	合計Rp.47,884 (RIHS) Rp.45,615 (SETKAB)
講師・C/P 配置	講師 日5、イ14	講師 日4、イ12	講師 日4、イ12 C/P 3	講師 日5、イ17	講師 日2、イ11 C/P 3	
研修・宿泊施設 資機材調達	周辺国研修員のみホテル イ研修員はRIHS宿舎の ためイ研修員より不満あり	同左	全研修員同一ホテル泊のため 研修員の評価は高かった		新宿舎を利用 (一部ホテル使用)	
2. アウトプットの達成状況						
(1) 研修員受入数	17 (4)	20 (10)	23 (12)	20 (8)	20 (8)	
(2) レベルアップの程度	EXAMINATION は実施して いない。 ケーススタディグループでは、研 修時間外も行っていたグル ープもあり、非常に熱心 、協力的である。 (RIHS) (専)	同左	同左	同左	同左	#87年度は研修員に よる評価(アンケート)は行な っていない。
(3) 研修成果の活用状況	帰国後研修成果を発揮する 機会があるか? 1. few 2. 3. 4. 5. quite many (五段階評価)	1. 00% 4. 50% 2. 10% 5. 30% 3. 10%	1. 00% 4. 35% 2. 09% 5. 13% 3. 43%	1. 00% 4. 13% 2. 00% 5. 07% 3. 50%	1. 00% 4. 70% 2. 05% 5. 00% 3. 25%	参加研修員からのクイズ 7回収40名

III. 計画の妥当性

	87	88	89	90	91	
1. 到達目標	研修の円滑な実施としての目標は達成 (専) (事)	同左	同左	同左	同左	
	過半数の研修員の研修に対する目的意識は鮮明であった。研修内容と目的については8割が合致していた。7割の研修員が研修全体に対して満足したと答えている。技術と知識における研修成果につき9割が達成したと答えている。(RIHS)					
2. 研修期間・時期	適切 (専) (事)	同左	同左		予算配分が行なわれてから期間を設定すべき (専)	
	6割が適切、3割弱がやや長いもしくはそれ以上と答えている。(RIHS)					
3. 資格要件	周辺国研修員の資質は高く、関心、満足度も高い。 イ研修員は英語力のハンデイがある。イ側の選考方法に改善の余地あり (専)	周辺国・イとも研修員の質は高い (専)	同左 比の研修員が熱心でないため、来年より受入控えたい (専)	講義内容に対する研修員の質問や意見提案の水準が高かった。(専)	周辺国研修員の資質は高く、関心、満足度も高い。(専)	選考委員会： 1. Cabinet Secretariate Officials 2. JICA Officials 3. IHS officials 4. JICA Expert (RIHS)
4. 定員・割当国	経験交流を通じての研修効果を高めるべく中国・韓・ブータンを割り当て国に加えた (専)	中国からの参加者1名あり (専) マニュアルミーティング (JICA・RIHS) により決定している。(RIHS)	中国からの参加者なし 住宅政策のテーマとしては人口の多い中国を参加させるべき PNGの研修員より大洋州諸国も割り当て国にして欲しいとの意見あり (専)			シンガポールからの応募者0名。 バングラデシュとマレーシアからの応募者多い。
5. カリキュラム (4週間)	講義2w 実習1w 旅行1w 全体に日程がハード (特に旅行) 日イの講義を減らし、各国の事情紹介・討議を増やしたい ニーズ：建築材料のソフトの部分 (生産、輸送、配分等のネットワークの組み方、需要予測) (専)	講義における配分 政策8：材料2 (専)	講義1.5 実習1.5 旅行1w 旅行の交通機関を変更したため時間的に改善された (専) 講義では政策が中心 材料は補助的	PUBLIC SECTOR からの講義が多い。PRIVATE SEC.の時間を増やしたいとの研修員からの指摘あり。(専)	研修生成績良好なものには日本での研修・留学の機会を斡旋してはどうか (専)	内容・・・7割が適切もしくはそれ以上 レベル・・・8割が適切もしくはそれ以上 講義・・・7割が適切もしくはそれ以上 ディスカッション・・・6割が適切もしくはそれ以上、年々評価が高くなっている。 実習・・・7割が適切もしくはそれ以上 見学・・・5割が適切と答えている。 密度・・・6割が適切と答えている。(RIHS)
6. 講師陣	概念・抽象的な高官の講師より、幅広い分野から実務担当者を選ぶべき (専)		現地講師は広範囲から選抜されており適切 日イ以外の国より講師を招きたい (専) 日4名 5.5h イ12名 22.5 (RIHS 2名3h)	日5名 9h イ17名 52h (RIHS 2名3h)	同左 日2名 3h イ11名 20.5h (RIHS 1名1.5h)	6. 講師陣 手法・・・全員が適切もしくはそれ以上 合致性・・・全員が適切もしくはそれ以上 (RIHS) 合計 日本人講師 20名 39.5 h イ講師 66名 134 h (RIHS講師 11名 165h)
8. 資金負担の割合	RIHSの提示した資料によると、出資率は、RIHS 8% JICA 85% セカブ7%。 ただし、JICA負担分に不明な点がある。(航空賃のみ?)					



MATERIAL FOR EVALUATION MEETING  
ON  
THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME  
IN  
HOUSING STRATEGIES FOR THE URBAN  
LOW INCOME GROUPS  
AT  
INSTITUTE OF HUMAN SETTLEMENTS (IHS)  
AGENCY FOR RESEARCH AND DEVELOPMENT  
MINISTRY OF PUBLIC WORKS  
IN COLLABORATION WITH JICA



RESEARCH INSTITUTE FOR HUMAN SETTLEMENTS  
AGENCY FOR RESEARCH AND DEVELOPMENT  
MINISTRY OF PUBLIC WORKS

MATERIAL FOR EVALUATION MEETING

ON

THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

IN

HOUSING STRATEGIES FOR THE URBAN  
LOW INCOME GROUPS

AT

INSTITUTE OF HUMAN SETTLEMENTS (IHS)  
AGENCY FOR RESEARCH AND DEVELOPMENT  
MINISTRY OF PUBLIC WORKS

IN COLLABORATION WITH JICA



RESEARCH INSTITUTE FOR HUMAN SETTLEMENTS  
AGENCY FOR RESEARCH AND DEVELOPMENT  
MINISTRY OF PUBLIC WORKS



## MATERIAL FOR EVALUATION MEETING

This material is framed based on a questionnaire from the Evaluation Team (See Annex VI)

### 1. Course contents

1 - 1 Summary of annual course report :

1 Participants attending the course  
(See Annex IA, IB, IC)

2 Evaluation of the course  
(See Annex II)

3 There was no examination given to the participants. The result of the training was put into group work on local settlement cases which will be evaluated by the lecturers, RIHS staff members and other persons concerned including the participants themselves. (See also Reports on groupwork by participants).

4 The participants showed good collaboration during course activities, group work and also in informal meetings after the lectures.

5 The participants were from several disciplines and occupied important posts in their respective departments. The participants met the qualifications put forward by the Organizing Committee.

6 Selection criteria :

The participants are selected in a special meeting which is attended by :

- a) Cabinet Secretariate Officials,
- b) JICA Officials,
- c) JICA Experts
- d) RIHS Officials,

- The best participant fulfilling all qualifications was first selected from each country, so that each country is represented

- The second best participant is then selected etc until the amount of participants is reached

7 The curriculum was designed and reviewed based on the evaluation put forward by the participants and personal observation and views of the lecturers and Organizing Committee. The latest development in the field of housing is also taken into consideration.

- 1 - 2 The necessity of the course for the participating countries is evaluated through :
  - a) The amount of candidates sent by each country
  - b) Through questions to be filled in the evaluation sheet ;
    - e.g. - In your opinion to what extent was your expectation of this course fulfilled.
    - Do you think you will have a chance to make good use of the techniques and knowledge you have attained in this course in your country ?
- 1 - 3 Expenditures for the course  
(See Annex III)
- 2 - 1 Evaluation by participating countries  
(See Annex IV)
- 2 - 2 The participants are always encouraged to contact RIHS for information they need.
- 3 Assistance from other agencies or organizations :  
See Annex V

THE INTERNATIONAL ADVANCED SEMINAR COURSE  
ON HOUSING STRATEGIES FOR THE URBAN LOW INCOME GROUPS

THE NUMBER OF PARTICIPANTS AND THEIR COUNTRIES OF ORIGIN

COUNTRIES	TOTAL	1987	1988	1989	1990	1991
BANGLADESH	4	2	-	-	1	1
BRUNEI	1	-	-	1	-	-
CHINA	3	-	1	-	1	1
FIJI	3	1	-	1	1	-
INDIA	4	-	2	-	1	1
MYANMAR	4	-	-	2	1	1
MALAYSIA	7	2	1	2	1	1
NEPAL	4	1	1	-	1	1
PAKISTAN	4	1	-	-	1	2
PHILIPPINES	9	2	3	2	1	1
PAPUA NEW GUINEA	3	-	-	1	1	1
SINGAPORE	-	-	-	-	-	-
SRI LANKA	4	1	1	1	-	1
THAILAND	6	2	1	1	1	1
WESTERN SAMOA	2	1	-	-	1	-
S U B . TOTAL	58	13	10	11	12	12
INDONESIA	42	4	10	12	8	8
T O T A L	100	17	20	23	20	20

TRAINING PERIOD

- February 20 - March 20, 1988 ( 30 days )
- November 5 - December 4, 1988 ( 30 days )
- November 1 - December 3, 1989 ( 34 days )
- November 5 - December 8, 1990 ( 34 days )
- October 8 - November 10, 1991 ( 34 days )

## THE COMPARISON OF NUMBER OF PARTICIPANTS AND SELECTED APPLICANTS

	TOTAL		1987		1988		1989		1990		1991	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
AFGHANISTAN												
BANGLADESH	11	4	5	2	2	0			2	1	2	1
BRUNEI	2	1	1				1	1				
CHINA	6	4			2	1			2	1	1	1
FIJI	3	2	1	1			1	1	1	1		
INDIA	4	4			2	2			1	1	1	1
MYANMAR	6	4					2	2	2	1	2	1
MALAYSIA	10	7	4	2	1	1	2	2	2	1	1	1
NEPAL	5	4	1	1	1	1	1		1	1	1	1
PAKISTAN	6	4	1	1					1	1	4	2
PHILIPPINES	10	9	2	2	4	3	2	2	1	1	1	1
PAPUA NEW GUINEA	3	3					1	1	1	1	1	1
SINGAPORE												
SRI LANKA	5	4	1	1	1	1	1	1	1		1	1
THAILAND	7	6	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
WESTERN SAMOA	2	2	1	1			1		1	1		
<i>SUB TOTAL</i>	81	58	19	13	15	10	13	11	17	12	16	12
INDONESIA	47	42	4	4	12	10	12	12	8	8	11	8
<b>T O T A L</b>	127	100	23	17	27	20	25	23	25	20	27	20

A : THE NUMBER OF APPLICANTS

B : THE NUMBER OF SELECTED APPLICANTS

## ANNEX I.C

LIST OF EX-PARTICIPANTS  
 THIRD COUNTRY TRAINING COURSE ON HOUSING STRATEGIES  
 FOR THE URBAN LOW INCOME GROUPS  
 Indonesia, 1988 - 1991

Foreign Participants - 1988 (Feb):

- |  |  |
|--|--|
| 1. Mr. MUHAMMAD HAMIDULLAH<br>M/o Housing & Works<br>Environment & Urban Affairs<br>Division, 6 th Floor<br>H.B.F.C. Bldg. F6/1<br>ISLAMABAD - PAKISTAN  | 8. Ms. AMINAH ISMAIL<br>Kem. Perumahan dan Kerajaan<br>Tempatan, Malaysia<br>46, Jalan Dungu, 50644<br>KUALA LUMPUR - MALAYSIA                         |
| 2. Mr. NETTIKUMARAGE DON DICKSON<br>Urban Development Authority,<br>27, D.R. Wijewardane<br>MAWATHA, COLOMBO - SRI LANKA                                 | 9. Mr. ENRIQUE L. CRUZ, JR<br>National Housing Authority<br>Elliptical Road, Diliman<br>Quezon City<br>PHILIPPINES                                     |
| 3. Mr. VIVEKANANDA MURUGESU<br>Ministry of Housing and Local<br>Government, Malaysia<br>Jalan Dungun, Damansara Heights<br>50644 KUALA LUMPUR - MALAYSIA | 10. Mr. ROSS M . SINGH<br>Housing Authority, Fiji<br>Valelevu Regional Centre,<br>NASIHU - FIJI  |
| 4. Mr. RIZALDE MEDIAVILLO<br>National Housing Authority<br>Diliman, Quezon City,<br>PHILIPPINES  | 11. Mr. ETUALE IOANE<br>Public Works Department<br>Private Bag, PWD<br>WEST SAMOA  |
| 5. Mr. A.K.MD. NURUL HUDA<br>Public Works Department<br>P.W.D Building, Mymensingh<br>Circle, Mymensingh<br>BANGLADESH                                   | 12. Mr. VIROJ RUCHEIMSIN<br>NHA Construction Project Dept.<br>Klong Chan, BANGKAPI<br>BANGKOK  |
| 6. Mr. M. ABU NASAR<br>Public Works Department<br>Under Ministry of Works<br>PWD Building Dhaka - 2<br>BANGLADESH  | 13. Mr. CHAVALITTHUMRONG KOTITAKOOL<br>Chulalongkorn University<br>Metropolitan Bangkok Administration<br>Department of Policy and Planning<br>BANGKOK |
| 7. Mr. REGMI SHARAD BABU<br>Department of Housing,<br>Building and Physical Planning,<br>Babarmahal - Kathmandu<br>NEPAL                                 |  |

Foreign Participants 1988 (Nov) :

14. Mr. VICTOR C. BALBA  
National Housing Authority  
Elliptical Road, Diliman,  
Quezon City - PHILIPPINES
15. Ms. SUWIMOL CHAUCHANWONG  
Bangkok Metropolitan Administration  
Policy and Planning Department  
Bangkok Metropolitan Administration  
BANGKOK
16. Mr. DAYAPALA JAYANETTI  
National Housing Development  
Authority Sri Lanka  
Sri Vipulasena Mawatha  
COLOMBO 10 - SRI LANKA
17. Mr. T.P. KALIAPPAN  
Tamil Nadu Slum Clearance Board  
5, Kamaraj Salai, Triollicane  
MADRAS 600005 - INDIA
18. Mr. KUMAR PRASAD LOHANI  
Kathmadu Valley Town Planning Team  
Ministry of Housing and Physical Planning  
Bijuli Bazar, Naya Banewore  
KATHMANDU - NEPAL
19. Ms. ZAITON MD. NOH  
Ministry of Housing and Local Government  
5 th Floor, Komplek Bukit Naga  
Off Jalan Semantan, Damansara Heights,  
50490 KUALA LUMPUR - MALAYSIA
20. Mr. ARLENE P. PUZON  
NHA - PTSG - NHA  
Elliptical Road, Diliman  
Quezon City - PHILIPPINES
21. Mr. P.R. RAMAKRISHNAN  
Ministry of Urban Development  
Govt. of India  
Nirman Bhawan, NEW DELHI - 110001  
INDIA
22. Mr. GAO XIAO HUI  
Institute of Urban Housing  
Ministry of Construction  
Bei Wan Zhuang, Beijing  
CHINA
23. Mr. HENRY YAP  
Housing and Urban Development  
Coordinating Council  
10 th Floor Allied Bank Center  
Ayala Avenue, Makati, MM  
PHILIPPINES

Foreign Participants 1989 :

24. Mrs. EMMA CRUZ ULEP  
Housing & Land Use Regulatory  
Board 393 Se, Geil Puyat Ave.  
Ext. Makati Metro Manila  
PHILIPPINES
25. Mr. MOHD. HASSIM B. JAMALUDIN  
Perak's Land and Mine Dept.  
Pejabat Tanah dan Galian  
PERAK, IPOH, MALAYSIA.
26. Mr. JAN MOHAMMED KHAN  
Fiji Housing Authority  
G.P.O. Box 1263, Suva  
FIJI ISLANDS
27. Mr. LUDWIG MALIHA  
National Housing Commission  
of Papua New Guinea  
P.O. Box 1550, Boroko  
PAPUA NEW GUINEA
28. Mrs. MINERVA Y. CALANTUAN  
National Housing Authority  
Elliptical Road, Diliman,  
Quezon City  
PHILIPPINES
29. Mr. MUSA BIN AHMAD  
Slim River District Officer,  
Perak, Pejabat Tanah & Daerah  
Slim River, Perak MALAYSIA
30. Ms. NATVIPA CHALITANON  
National Housing Authority  
Centre for Housing & Human  
Settlements Studies, N.H.A.  
Bangkapi, Bangkok, THAILAND.
31. Mr. SOE LWIN  
Housing Department,  
Ministry of Construction  
No. 228-234, Bogyoke Aung Sun  
Street Union of MYANMAR
32. Mr. MOHAMAD TAIB BIN  
HAJI MOHAMAD SAID  
Housing Development Department  
Ministry of Development  
BRUNEI DARUSSALAM 2036
33. Mr. U KYAW WIN  
Housing Department  
Ministry of Construction  
Land and Revenue Division,  
228/234 Bogyoke Aung San Street  
YANGON - MYANMAR
34. Mr. WANNIARACHIGE DON SAMSON  
National Housing Dev. Authority  
Baddulla - SRI LANKA

Foreign Participants 1990 :

35. Mr. ABU MD FAKHRUDDIN  
Ahsanullah Engineering College  
Dhaka University  
Asst. Chief Engineer Housing &  
Settlements Segunbaghicha  
DHAKA - BANGLADESH
36. Ms. ACELA CHARITO M. BADIOLA  
National Govt. Center Housing  
Project Housing & Urban Dept.  
10/F Allied Center, Ayala-Avenue  
MAKATI - METRO MANILA
37. Mr. HARISH SATISH KUMAR  
H.P. Housing Board  
Nigam Vihar Shimla (H.P)  
INDIA
38. Mr. HEMANT ARJYAL  
Dallu Housing / Dept. of  
Housing & Urban Devt.  
c/o Dept. of Housing & Urban Devp.  
BABAR MAHAL- KATHMANDU-NEPAL.
39. Mr. JAMES TANBY  
National Housing Corporation  
N.H.L. P.O. Box 1550  
Boroko NCD  
PAPUA NEW GUINEA
40. Mr. MALIK MAQBOOL ILAHI  
Capital Development Authority  
ISLAMABAD - PAKISTAN
41. Mr. PENI BULU  
Housing Authority of Fiji  
P O Box. 1263, SUVA  
FIJI ISLANDS
42. Mr. RADZI BIN DARUS  
Urban Development Authority  
Menara Plaza Bukit Bintang  
Lot. 111, Jalan Bukit Bintang  
55100 KUALA LUMPUR  
WEST MALAYSIA
43. Mr. ROPATI PAEPAE AIONO  
Public Works Department  
of Western Samoa  
Private Bag Apia  
WEST SAMOA
44. Ms. UBOLWAN SUEBYUBOL  
National Housing Authority  
BANGKOK - THAILAND
45. Mr. U MIN THEIN  
Minister's Office  
Ministry fo Construction  
YANGON - MYANMAR
46. Mr. YUKUN WANG  
Division Chief  
The State Council Devt.  
Research Center of R.R.C  
22 Xianmen St. BEIJING 100017  
C H I N A.



Foreign Participants 1991 :

47. Mr. MEDOZHO ZANGO  
Senior Architect, PWD  
State Govt. Of Nagaland  
KOHIMA - 797001 - INDIA
48. Mr. MUHAMMAD SHAUKAT  
Environment & Urban Affairs  
Division Ministry of Housing &  
Works. Room no. 414, Fourth Floor  
Shaheed - E - MILLAT  
ISLAMABAD - PAKISTAN
49. Ms. MARYLINDA C. AMBA  
National Housing Authority  
DILIMAN, Quezon City,  
PHILIPPINES
50. Ms. NEELA PIYASEELI GUNASEKERA  
National Housing Dev.  
Authority Maligawatta  
COLOMBO - SRI LANKA
51. Mr. NASIMUL HASAN USMANI  
National Housing Authority  
Shaheed - 1 - Millat  
Secretariate Blue Area  
ISLAMABAD - PAKISTAN
52. Ms. NWE NI NYUT  
c/o D.G. General Administra-  
tion Dept.  
Ministry of Affairs  
YANGON - MYANMAR
53. Mr. PADMALAL SHRESTHA  
Regional Director  
Dept. of Housing & Town Devp.  
KATHIMANDU - NEPAL
54. Mr. STEARFORD TAOSI AMEVO  
Enga Provincial Government  
P.O. Box 153 WABAG  
PAPUA NEW GUINEA
55. Mr. SYED ALI AKBAR  
Housing and Building Research  
Institute  
Darus Salam - Mirpur,  
Dhaka 1218 BANGLADESH
56. Mr. SUKIMAN SURAHMAN  
Kuala Lumpur City Hall  
26th Floor Jln. Raya Laut  
50350 KUALA LUMPUR
57. Ms. SHENGMEI HE  
Shanghai Municipal Housing  
Construction Corp.  
246/Jiang Xi Road cc,  
SHANGHAI - CHINA
58. Mr. VIPAT CHAMKRAJANG  
National Housing Authority  
Sukapihan 1, Rd., Bangkok  
BANGKOK 10240 - THAILAND

Indonesian Participants 1988 (Feb.) :

1. Mr. ALI ARIFIN  
Research Institute for  
Human Settlements  
Jl. Panyaungan - Cileunyi  
Bandung
2. Ms. LINDA MUNIARTY  
Directorate for Programme  
Devt. Dit. General of  
Human Settlements  
Jl. Raden Patah I/1 Keb. Baru  
Jakarta Selatan
3. Ms. NURAHMA TRESANI  
Head Office of Perum Perumnas  
Jl. D.I. Panjaitan Kav. 11  
Jakarta Timur
4. Mr. ASIA  
Directorate of Housing  
Jl. Wijaya 1/68  
Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan

Indonesian Participants 1988 (Nov.) :

5. Mr. PUTU DARTA  
Werdhapura Sanur  
P.O. Box 170  
Denpasar - Bali
6. Mr. AGUS INDARTO  
PITB - Surabaya  
Jl. Krembangan Timur 32  
Surabaya
7. Mr. PUDJO KOESWHORO JULIARSO  
Soegiyapranata Social Foundation  
Jl. Pandanaran no. 11  
Semarang
8. Mr. NANA CAHYANA MARDIO  
Institut Teknologi Indonesia  
Jl. Raya Puspitek, Serpong  
Tangerang
9. Mr. WIRYONO RAHARJO  
Yayasan Pondok Rakyat  
Jl. Candrakirana 21  
Yogyakarta
10. Mr. JOESRON ALIE SYAHBANA  
Lecturer of Faculty of Eng.  
Diponegoro University  
Jl. Hayam Wuruk no. 5  
Semarang
11. Ms. ICHSANNA SAMBA RUKMIE  
Lecturer Dept. of Architecture  
Gadjah Mada University  
Jl. Teknika Utara no. 1 Berek
12. Mr. YUSMIN YULIANDI  
Directorate of Programme Devt.  
Jl. Raden Patah I/1  
Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan
13. Ms. ENDAH YUSWARINI  
Lecturer I T S  
Fakultas Non Gelar Teknologi  
Kampus ITS Keputih Sukolilo  
Surabaya
14. Mr. TUGAS HUSNI SYARWANTO  
Cipta Karya Jawa Timur - P4R  
Jl. Gayung Kebonsari 169  
Surabaya

Indonesian Participants 1989 :

15. Mr. AGAM MARSOYO  
Lecturer Technical Faculty of  
Gadjah Mada University  
Jl. Grafika no. 2  
Yogyakarta
16. Mr. ALBERTUS SIDHARTA. M.  
Yayasan Sosial Soegiyapranata  
Jl. Pandanaran 11  
Semarang
17. Mr. ANWAR PULUKADANG  
Perum Perumnas, Branch III  
Jl. Hertasning PO Box 181  
Ujung Pandang
18. Mr. DIDIET AKHDIAT ARIEF  
Research Institute for Human  
Settlements  
Jl. Panyaungan - Cileunyi  
Bandung
19. Mr. GURITNO SOERJODIBROTO  
Land national Agency  
Jl. Singamangaraja 2  
Jakarta Selatan
20. Mr. IMAN HIDAYAT  
State Minister Office for  
People Housing  
Jl. Kebon Sirih 31  
Jakarta Pusat
21. Mr. USMAN SUTOPO  
Directorate of Housing  
Jl. Wijaya I/68  
Kebayoran Baru  
Jakarta Selatan
22. Mr. ZUHANIF TOLHAS P.S.  
Bandung Urban Development-  
Project (BUDP)  
Jl. Suci 92  
Bandung.
23. Ms. PURWANITA SETIJANTI  
Lecturer ITS  
Kampus ITS Keputih-Sukolilo  
Surabaya
24. Mr. RUDY PRASATYA LILANANDA  
Lecturer PETRA Christian Univ.  
Jl. Siwalankerto 121-131  
Surabaya.
25. Mr. R. SOELISTYO WAHYUNINGTIAS.  
Perum Perumnas, Branch V  
Jl. Wilis 23  
Semarang
26. Mr. F.X. SOEWANDI  
Lecturer Technical Faculty of  
Univ. Sebelas Maret  
Jl. Ir. Sutami 36 A  
Surakarta.

Indonesia Participants 1990 :

27. Mr. DEDDY MULYADI  
Bandung Urban development -  
Project (BUDP)  
Jl. Suci 92  
Bandung.
28. Ms. DHARMAWATY ADIANTO  
National Urban Development  
Corporation  
Jl. D.I. Panjaitan Kav. 11  
Jakarta Timur
29. Mr. EDHI KOESDIANTO  
PT. Bina Karya  
Jl. D.I. Panjaitan Kav. No. 2  
Jakarta Timur
30. Mr. ERRY SAPTARIA ACHYAR  
Directorate of Building  
Jl. Kramat Raya 63  
Jakarta Pusat

31. HARRY WAHJONO  
Lecturer  
Dept. of Architecture Eng.  
University of Tri Sakti  
Jl. Kyai Tapa Raya - Grogol  
Jakarta
32. Ms. NUR FIZILI KIFLI  
Research Institute for Human  
Settlements  
Jl. Panyaungan - Cileunyi  
Bandung
33. Mr. RIZON PAMARDHI UTOMO  
Asst. Lecturer  
Architecture Dept. Faculty  
of Engineering  
University Sebelas Maret  
Jl. Ir. Sutami 36 A  
Surakarta
34. Mr. TONY SOELARSONO  
Bandung Urban Development  
Project (BUDP)  
Jl. Suci no. 92  
Bandung.

Indonesian Participants 1991 :

35. Mr. ARVI ARGYANTORO  
Research Institute for  
Human Settlements  
Jl. Panyaungan - Cileunyi  
Bandung
36. Mr. AHMAD SARWADI  
Lecturer  
Dept. of Architecture  
Gadjah Mada University  
Jl. Teknik Utara  
Bulaksumur  
Yogyakarta
37. Ms. ENDANG TITI SUNARTI  
Lecturer  
Dept. of Architecture I T S  
Kampus ITS Keputih-Sukolilo  
Surabaya.
38. Mr. HADI SANTOSO  
Cipta Karya  
DPU DT I Jawa Timur  
Jl. Gayung Kebonsari 169  
Surabaya

39. Mrs. HARINI SUBEKTI  
Lecturer  
Architecture Study Programme  
Faculty of Engineering  
Brawijaya University  
Jl. Mayjen. Haryono 167  
Malang - 65145
40. Mr. PANGIHUFAN MARPAUNG  
Office of The State Minister  
for Housing  
Jl. Kebon Sirih 31  
Jakarta Pusat
41. Mr. TUMPAL SIAGIAN  
National Urban Development  
Corporation  
Jl. D.I. Panjaitan Kav. 11  
Jakarta Timur
42. Mr. TIAHJONO RAHARDJO  
DPU Cipta Karya  
Prop. DT I Jawa Tengah  
Jl. Kol. Sugiyono no. 2  
Semarang

SUMMARY OF  
EVALUATION OF THE INTERNATIONAL ADVANCED SEMINAR COURSE  
ON HOUSING STRATEGIES FOR THE URBAN LOW INCOME GROUPS

Indonesia,

November 5 - December 4, 1988

November 1 - December 3, 1989

November 5 - December 8, 1990

October 8 - November 10, 1991

By :

ORGANIZING COMMITTEE

SUMMARY OF  
EVALUATION OF THE INTERNATIONAL ADVANCED SEMINAR COURSE  
ON HOUSING STRATEGIES FOR THE URBAN LOW INCOME GROUPS

Indonesia,  
November 5 - December 4, 1988  
November 1 - December 3, 1989  
November 5 - December 8, 1990  
October 8 - November 10, 1991

I. OBJECTIVES

1.	To what extent were you aware of the objectives of this training program before you come to Indonesia ?	1988	1989	1990	1991
	1. not aware at all	00 %	00 %	00 %	00 %
	2.	11 %	10 %	07 %	10 %
	3.	28 %	57 %	29 %	35 %
	4.	50 %	28 %	50 %	40 %
	5. fully aware	11 %	05 %	14 %	15 %
2.	Please indicate whether the main objectives of the course were met				
	1. not met	00 %	00 %	00 %	00 %
	2.	00 %	00 %	00 %	20 %
	3.	40 %	65 %	29 %	05 %
	4.	35 %	35 %	64 %	45 %
	5. fully met	25 %	00 %	07 %	30 %
3.	In your opinion to what extent was your expectation of this course fulfilled ?				
	1. not fulfilled	00 %	00 %	00 %	00 %
	2.	00 %	09 %	00 %	10 %
	3.	35 %	36 %	07 %	20 %
	4.	40 %	55 %	86 %	40 %
	5. completely fulfilled	25 %	00 %	07 %	30 %

For the participants who marked degree 1. or 2. of the above items on objectives from number 1. to number 2. We would like you give us some coment.

See the list of paticipants comment !

## II. CURRICULUM DESIGN

### 1. Coverage, level, time allocation, intensity and duration :

#### a. coverage of the subjects

	1988	1989	1990	1991
1. incomplete	00 %	00 %	00 %	00 %
2.	06 %	09 %	00 %	10 %
3. just right	78 %	78 %	71 %	50 %
4.	16 %	13 %	22 %	25 %
5. too broad	00 %	00 %	00 %	00 %

#### b. Level

1. too elementary	00 %	00 %	00 %	00 %
2.	06 %	04 %	00 %	20 %
3. just right	82 %	83 %	72 %	70 %
4.	06 %	13 %	29 %	10 %
5. too advanced	06 %	00 %	00 %	00 %

#### c. Time Allocation to :

##### Lectures

1. too little	00 %	04 %	07 %	00 %
2.	11 %	09 %	07 %	10 %
3. just right	62 %	78 %	50 %	70 %
4.	16 %	09 %	36 %	20 %
5. too much	11 %	00 %	00 %	00 %

##### Discussions

1. too little	06 %		00 %	00 %
2.	22 %		14 %	10 %
3. just right	50 %		64 %	70 %
4.	22 %		22 %	20 %
5. too much	00 %		00 %	00 %

##### Exercises

1. too little	00 %	13 %	14 %	00 %
2.	22 %	17 %	14 %	20 %
3. just right	72 %	70 %	72 %	70 %
4.	06 %	00 %	00 %	10 %
5. too much	00 %	00 %	00 %	00 %

Observations	1988	1989	1990	1991
1. too little	06 %	13 %	00 %	00 %
2.	33 %	22 %	14 %	40 %
3. just right	61 %	61 %	57 %	10 %
4.	00 %	04 %	22 %	20 %
5. too much	00 %	00 %	07 %	00 %
d. Intensity				
1. too leisurely	06 %	00 %	00 %	00 %
2.	06 %	04 %	07 %	20 %
3. just right	61 %	78 %	57 %	70 %
4.	21 %	18 %	36 %	10 %
5. too hard	06 %	00 %	00 %	00 %
e. Duration				
1. too short	11 %	13 %	00 %	00 %
2.	06 %	09 %	07 %	00 %
3. just right	61 %	56 %	57 %	60 %
4.	16 %	22 %	36 %	20 %
5. too long	06 %	00 %	00 %	15 %

2. Programming of the topics

Do you think that the topics were programmed systematically? If you do not, please give us your suggestion to improve the training much better.

1 9 8 8

No Comments given

1 9 9 0

1 st week - Introduction to topics  
 2 nd week - Site Visit  
 3 rd week - Case Study  
 4 th week - Case Study  
 5 th week - Discussions and wrap up meeting  
 6 th week - presentation and conclusion according to wrap up meeting, findings.

1 9 9 1

See the list of participants comment !



3. The most or the least valuable topics

a. What do you think are the two (2) most interesting and beneficial topics in the training program ?

1 9 8 8

No comments given

1 9 8 9

Housing Paradigm	11 persons
Cooperative development in housing	7 persons
Urban spatial development	6 persons
Appropriate technology in housing	4 persons
Community base development approach	4 persons
Housing policy and planning	4 persons
Building material development	2 persons
Introduction KIP Surabaya	2 persons

1 9 9 0

Integrated urban development policy	2 persons
Housing Paradigm	3 persons
Appropriate technology	3 persons
Community based development	3 persons

1 9 9 1

Housing policy	7 persons
Social Approach	3 persons

b. What do you think are the two (2) least interesting and beneficial topics in the training program ?

1 9 8 8

No comments given

1 9 9 0

Dynamic special planning	1 person
Housing situation and policy in Japan	1 person
Testing and evaluation of wood	1 person
Community based development	1 person

1 9 9 1

Design approach	3 persons
-----------------	-----------

### III. COURSE CONDUCT

#### 1. Teaching Method

Evaluate the teaching method and application to your work of each topic matter by the scale below. Please fill the checklist on next page with the number that approximate your opinion.

#### LIST OF TOPICS AND SUBJECT MATTERS

1 9 8 8

1. METROPOLITAN FRINGE DEVELOPMENT
2. HOUSING DEVELOPMENT IN INDONESIA
3. INTEGRATED APPROACH TO URBAN DEVELOPMENT IN INDONESIA
4. RURAL AND URBAN DEVELOPMENT APPROACH (AN INDONESIAN CASE)
5. THE ROLES OF THE PRIVATE SECTOR IN HOUSING DEVELOPMENT IN INDONESIA
6. INTRODUCTION TO KAMPUNG IMPROVEMENT PROGRAMME (KIP) JAKARTA
7. FIELD OBSERVATION TO PERUM PERUMNAS PROJECT, REAL ESTATE AND JAKARTA KAMPUNG IMPROVEMENT PROGRAMME
8. URBAN MANAGEMENT
9. HOUSING POLICY AND PLANNING
10. BUILDING MATERIALS DEVELOPMENT FOR LOW COST HOUSING (AN INDONESIAN CASE)
11. BUILDING MATERIALS QUALITY AND STANDARD
12. HOUSING FINANCE IN INDONESIA
13. BUILDING MATERIALS AND LOW COST HOUSING
14. SEMINAR ON HOUSING FINANCE, COMMUNITY PARTICIPATION, AND DESIGN AND TECHNOLOGY
15. WORKSHOP ON LOCAL SETTLEMENTS (PUBLIC HOUSING AND POPULAR HOUSING)
16. FIELD OBSERVATION AND DISCUSSION ON SPECIFIC HOUSING OBJECTS IN BALI AND YOGYAKARTA

1 9 9 0

1. HOUSING DEVELOPMENT POLICY
2. INTEGRATED URBAN DEVELOPMENT POLICY
3. THE ROLE ON PUBLIC SECTOR IN HOUSING DEPARTMENT
4. BANDUNG URBAN DEVELOPMENT PROJECT
5. BUILDING MATERIALS DEVELOPMENT
6. URBAN SPATIAL DEVELOPMENT
7. COOPERATIVE DEVELOPMENT (SAMARINDA CASE)

8. GUIDED LAND DEVELOPMENT (JAKARTA CASE)
9. HOUSING PARADIGM
10. APPROPRIATE TECHNOLOGY IN HOUSING
11. APPLICATION OF BUILDING MATERIALS IN HOUSING
12. HOUSING FINANCE IN INDONESIA (POLICI OPTIONS)
13. HOUSING FINANCE IN INDONESIA (APPLICATION)
14. COMMUNITY BASED DEVELOPMENT APPROACH
15. INTRODUCTION TO KIP SURABAYA
16. INTRODUCTION TO HOUSING IN BALI
17. HOUSING ANALYSIS IN HOUSING POLICY AND PLANNING
18. INTRODUCTION TO HOUSING IN YOGYAKARTA

1 9 9 1

1. DYNAMIC PLANNING
2. ENABLING HOUSING POLICY
3. HOUSING FINANCE
4. THE ROLE OF PUBLIC SECTOR (NUDC)
5. THE ROLE OF PRIVATE SECTOR (BSD)
6. INTRODUCTION TO RIHS
7. INTRODUCTION TO HOUSING IN BALI
8. COOPERATIVE HOUSING
9. HOUSING PROJECT IN SURABAYA
10. JAPANESE HOUSING POLICY
11. RANCABALI HOUSING
12. KAMPUNG NAGA HOUSING

Scale (teaching method)	1988	1989	1990	1991
1. very poor	00 %		00 %	00 %
2. poor	00 %		00 %	00 %
3. good	58 %		79 %	00 %
4. very good	42 %		14 %	00 %
5. out standing	00 %		07 %	00 %

(Application)

1. nothing	00 %		00 %	00 %
2.	00 %		00 %	00 %
3.	42 %		79 %	00 %
4.	52 %		14 %	00 %
5. applicable	06 %		07 %	00 %

1 9 9 1

Topics or Subject matters number	1	2	3	4	5	6	7
Check point							
Method of instruction and presentation	3,6	3,6	3,7	3,5	4,4	4,1	4,1
Communication language	3,7	3,9	4,0	4,0	3,8	4,2	3,7
Trainees involvement and participation	3,8	3,8	3,7	3,8	4,4	4,1	4,2
Quality & Quantity of training material	3,7	3,7	3,6	3,9	4,0	4,3	3,7
Quality & Quantity of training facilities	3,8	3,8	3,7	4,0	4,0	3,9	3,6
Application to your work	3,6	3,7	3,3	3,8	3,7	3,5	3,2
Total Evaluation							

Topics or Subject matters number	8	9	10	11	12
Check point					
Method of instruction and presentation	3,2	4,0	4,0	3,7	3,8
Communication language	3,1	4,1	3,4	3,7	3,4
Trainees involvement and participation	3,3	4,5	3,7	4,0	3,6
Quality & Quantity of training material	3,5	4,3	3,7	3,5	4,0
Quality & Quantity of training facilities	3,2	3,8	3,5	3,7	4,0
Application to your work	3,3	4,2	3,1	3,5	4,2
Total Evaluation					

2. Application of techniques and knowledge.

Do you think that you will have chance to make good use of the techniques and knowledge you have attained in this course in your country ?

	1988	1989	1990	1991
1. f e w	00 %	00 %	00 %	00 %
2.	10 %	09 %	00 %	05 %
3.	10 %	43 %	50 %	25 %
4.	50 %	35 %	43 %	70 %
5. quite many	30 %	13 %	07 %	00 %

For the participants who marked degree 1 or 2 of the above items on training outcomes. Please give us some comments !

See the list of participants comment !

IV. ADMINISTRATION AND MANAGEMENT

How would you describe the general administration and management of the course.

	1988	1989	1990	1991
1. Coordination for course conduct :				
1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
2. poor	06 %	09 %	07 %	10 %
3. good	66 %	30 %	14 %	50 %
4. very good	22 %	57 %	72 %	40 %
5. outstanding	06 %	04 %	07 %	00 %
2. Pre - course information (G.I.Briefing and orientation)				
1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
2. poor	06 %	09 %	21 %	10 %
3. good	83 %	57 %	50 %	70 %
4. very good	11 %	30 %	29 %	20 %
5. outstanding	00 %	04 %	00 %	00 %
3. Arrangements for observation trips				
1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
2. poor	32 %	17 %	00 %	10 %
3. good	11 %	39 %	50 %	20 %
4. very good	57 %	26 %	43 %	60 %
5. outstanding	00 %	17 %	07 %	10 %

4.	Housing and food accomo- dations	1988	1989	1990	1991
	1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
	2. poor	22 %	04 %	00 %	00 %
	3. good	50 %	43 %	36 %	70 %
	4. very good	22 %	39 %	64 %	20 %
	5. outstanding	06 %	13 %	00 %	10 %
5.	Allowance				
	1. too little	00 %	30 %	00 %	00 %
	2.	11 %	13 %	14 %	15 %
	3. reasonable	73 %	52 %	64 %	60 %
	4.	10 %	00 %	22 %	25 %
	5. too much	00 %	04 %	00 %	00 %
6.	Transportation				
	1. inconvenient	06 %	00 %	00 %	00 %
	2.	22 %	00 %	07 %	10 %
	3. good	22 %	39 %	29 %	20 %
	4.	36 %	39 %	20 %	40 %
	5. very convenient	14 %	22 %	14 %	30 %
7.	Social program				
	1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
	2. poor	11 %	09 %	14 %	20 %
	3. good	50 %	61 %	43 %	55 %
	4. very good	36 %	26 %	36 %	25 %
	5. outstanding	00 %	04 %	07 %	00 %
8.	Communication among the participants				
	1. very poor	00 %	00 %	00 %	00 %
	2. poor	06 %	00 %	00 %	00 %
	3. good	36 %	52 %	36 %	40 %
	4. very good	58 %	43 %	50 %	60 %
	5. outstanding	00 %	04 %	14 %	00 %

Please comment if you have any !

See the list of participant coments !

V. TRAINING OUTCOMES

	1988	1989	1990	1991
1. Attainment of technique and knowledge				
1. little	00 %	00 %	00 %	00 %
2.	00 %	00 %	00 %	00 %
3.	31 %	65 %	31 %	00 %
4.	58 %	35 %	57 %	70 %
5. fully	11 %	00 %	00 %	00 %

LIST OF THE PARTICIPANTS ADDITIONAL COMMENTS

1 9 8 8

1. The participant would like more observation, exercises, and discission in the field.
2. It will be better if the annauncement of the programme could be received two weeks before their departure for Jakarta.
3. The participants would like some information after arrival at airport Jakarta, because at the airport nobody can help them to get the information on the course.
4. More time for preparation of presentation of case study should be given.
5. It is hoped that the themes, subjects etc can be continued, but the case should be more specific with the same group.
6. If possible all the participant stay together in one hotel for more discussions and informal programmes.
7. I think its better if all the participants have information about objects to be visited.
8. Field observation should be given much more attention on going project.
9. Teaching material should be given through oudio visual.

1 9 9 0

1. Participants should be informed of his selection and requirements at least one month before start of seminar.
2. A list of the topics to be covered should also be sent to participants so that he is prepared to comment and discuss on issues.
3. This course is a package programme which needs expansion especially to make a more detailed and specific case study. There may be still time to cover this by a roving seminar for another 15 days in Japan (TIC) and Bangkok (AIT).
4. I think it is better to have more time for discussion.
5. Pre course information must be reached to the participants before they arrive in Indonesia, so that their presentation is to the point.
6. Most of the topics related to technology and natural resources available in each participating country since housing problem are tied closely to rising cost more information is needed from financing agencies like World Bank, ADB, Local Bank on availability of loan finance to low income groups (their terms, requirement & conditions).

1 9 9 1

1. The country paper be limited to specific case because it is not possible to explain or to talk about general National policy for every participant.
2. The course should be better continued with other courses at higher level and participants want to study in other courses above.
3. The participants were expecting more information on building materials technology.
4. The duration of the course should be not more than 3 weeks.



5. Subject should be more relative to urban low income communities. Period should be at least 6 weeks. The participant who is participating the course should be fluent in English otherwise they will not be able to give an input to the course, as they will not be able to get any out put from the course. The way of conducting the course is very methodically, because the participants can exchange their views and experience. The excursions are very important for preparing the future plans.
6. The comment for the next course, subject : especially for cyclone/flood resistance structure should be held minimal 3 weeks.

#### ADDITIONAL INFORMATION OBTAINED DURING THE ORAL EVALUATION

1 9 8 8

1. Follow up evaluation course may be held to see how far the conclusions have been implemented.
2. Seminar course should be conducted for other participants.
3. Further course on other issues should be organized.
4. Possibility of a specialised course for in-depth focus on housing issues may be organized.
5. Lectures should be combined with a follow up field visit where ever possible.
6. The institute could function as a focal poin for exchanging the experience of participants by way of " newsweek "

1 9 9 0

1. Much more time should be allocated for workshop.
2. Regard lectures on land use and cooperative development important. ( not given this year )
3. Case study time allocation too short.
4. More time should be allocated for workshop.

5. More motivation should be given to participants to participate in workshop.
6. Guide line of country paper should be detailed e.g. foreign participants presented more on general policy, less on solving a housing problem (Country situation or case study). State e.g. housing in each country and government involvement 4 - 5 pages, and case study 10 pages.

1 9 9 1

1. Topics to be studied should be given much in advanced.
2. Time should be given to see the site.
3. Presidential orders should be known by participants.
4. Interest of participants should be known before the course.
5. Participants should be grouped based on same interest to obtain group papers which are not general.
6. Time to exchange information among the participants should be made available.
7. The lecturers should also discuss the 3 major topics given in the booklet
8. Lecturers could be assigned to give specific topics (Guest lecturers other than Japanese or Indonesian lecturers could be asked to lecture on special subjects as comparative material).

Statement of expenditure 1  
in Rupiah

	1 9 8 7						1 9 8 8					
	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total
1. Invitation expenses												
1. Airtickets	-	pm	-	-	-	-	-	-	pm	-	-	-
2. Per-diem	-	pm	-	-	-	-	-	-	pm	-	-	-
3. Accomodation	6.324.370	-	-	6.324.370	6.550.000	-	6.550.000	-	-	-	-	6.550.000
4. Medical insurance	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. Others	-	600.240	-	600.240	-	-	600.000	-	600.000	-	-	600.000
2. Training Expenses												
1. Honoraria	-	2.960.200	1.355.000	4.315.200	-	-	4.257.500	1.355.000	-	-	-	5.612.500
2. Employment fee Secretary	1.070.873	-	-	1.070.873	775.000	-	775.000	-	-	-	-	775.000
3. Transportation	2.508.800	12.559.120	3.502.000	18.569.920	2.662.000	16.610.000	3.789.000	2.000.000	27.345.000	2.000.000	-	29.345.000
4. Materiel Procurement	-	7.419.360	2.000.000	9.419.360	-	-	7.500.000	-	-	-	-	7.500.000
5. Textbook	-	12.419.720	-	12.419.720	-	-	3.000.000	-	-	-	-	3.000.000
6. Others	150.000	-	-	150.000	-	-	-	-	-	-	-	-
3. Miscellaneous	-	1.640.000	-	1.640.000	-	-	1.669.900	-	-	-	-	1.669.900
4. 1. Grand total	10.054.043	37.598.640	9.657.000	57.509.683	9.987.000	57.982.400	10.144.000	10.144.000	78.113.400			3.905.670
2. Unit cost/person/month				3.382.099.5								

Statement of expenditures 2  
in Rupiah

	1989						1990					
	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total	Contribution by IHS	Contribution by JICA	Contribution by SETKAB	Total
1. Invitation expenses												
1. Airtickets	-	pm	-	-	-	-	-	-	pm	-	-	-
2. Per-diem	-	36.202.650	-	36.202.650	-	38.987.000	-	38.987.000	-	-	-	38.987.000
3. Accomodation	5.920.700	-	-	5.920.700	6.786.500	-	-	6.786.500	-	-	-	6.786.500
4. Medical insurance	-	-	-	-	-	pm	-	-	pm	-	-	-
5. Others	-	1.500.000	-	1.500.000	-	-	-	-	-	-	-	-
2. Training Expenses												
1. Honoraria	-	6.705.000	1.335.000	8.040.000	-	10.152.700	2.055.000	12.207.700	-	-	-	-
2. Employment Fee Secretary	1.550.000	27.516.000	-	29.066.000	962.500	-	-	962.500	-	-	-	962.500
3. Transportation	1.432.000	39.772.000	2.688.000	43.892.000	1.266.500	32.456.600	3.140.000	36.863.100	-	-	-	-
4. Material Procurement	-	9.375.000	-	9.375.000	-	41.999.200	-	41.999.200	-	-	-	41.999.200
5. Textbook	-	-	-	-	-	14.625.000	-	14.625.000	-	-	-	14.625.000
6. Others	-	-	3.000.000	3.000.000	-	-	3.000.000	3.000.000	-	-	-	3.000.000
3. Miscellaneous												
4. 1. Grand total	8.902.700	121.160.650	7.023.000	137.086.350	9.015.500	138.100.500	8.195.000	155.311.000	9.015.500	138.100.500	8.195.000	155.311.000
2. Unit cost/person/month				5.960.276				7.765.550				7.765.550

Statement of expenditure 3  
in Rupiah

	1991										Grand Total	
	Contribution		Contribution		Contribution		Contribution		Contribution			Total
	by	by	by	by	by	by	by	by	by			
IHS	JICA	SETKAB	IHS	JICA	SETKAB	IHS	JICA	SETKAB	Total			
1. Invitation expenses												
1. Airtickets	-	pm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. Per-diem	-	51.840.000	-	51.840.000	-	127.009.650	-	-	-	-	127.009.650	-
3. Accomodation	7.710.150	-	-	7.710.150	33.291.720	-	-	-	-	-	33.291.720	-
4. Medical Insurance	-	pm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. Others	-	-	-	-	-	2.700.240	-	-	-	-	2.700.240	-
2. Training Expenses												
1. Honoraria	-	10.700.000	3.756.000	14.456.000	34.865.400	34.865.400	9.876.000	79.506.500	-	-	4.358.373	-
2. Employment Fee Secretary	-	-	-	-	4.358.373	-	-	-	-	-	4.358.373	-
3. Transportation	1.549.200	30.039.400	3.640.000	35.228.600	9.418.500	114.181.120	16.759.000	145.358.620	-	-	145.358.620	-
4. Material Procurement	605.000	47.500.000	-	48.105.000	605.000	164.035.560	4.000.000	168.700.560	-	-	168.700.560	-
5. Textbook	-	17.842.190	-	17.842.190	-	61.761.910	-	61.761.910	-	-	61.761.910	-
6. Others	-	-	3.000.000	3.000.000	150.000	-	15.000.000	15.150.000	-	-	15.150.000	-
3. Miscellaneous												
	-	-	-	-	-	-	109.400	-	-	-	109.400	-
4. 1. Grand total	9.924.350	157.921.590	10.396.000	170.241.940	47.983.700	512.863.780	45.635.000	606.383.260	-	-	606.383.260	-
2. Unit cost/person/month				8.912.097								

Note: 1987 : US\$.1. = Rp 1.640.00  
 1988 : US\$.1. = Rp 1.700.00  
 1991 : US\$.1. = Rp 2.000.00  
 1989 : US\$.1. = Rp 1.700.00

LIST OF LECTURER NOTE  
 THIRD COUNTRY TRAINING COURSE ON HOUSING STRATEGIES FOR THE  
 URBAN LOW INCOME GROUPS.  
 Indonesia, February 20 - March 20, 1988.

No.	Code	Title	Author
1.	L-1	Statistical Analysis	Yoshiyuki OSAKAYA
2.	L-2	The prediction of housing needs	K. ISHIZAKA
3.	L-3	Housing finance	K. ISHIZAKA
4.	L-4	Housing Supply Planning	K. ISHIZAKA
5.	L-5	System of housing policy	K. ISHIZAKA
6.	L-6	Indonesian Housing Policy	Cosmas Batubara
7.	L-7	Paradigm of urban planning (Outline)	DR. Shun-ichi WATANABE
8.	L-8	Low Cost Housing & Building Materials in Indonesia	S.M. Ritonga
9.	L-9	Integrated approach toward housing policy	Sardjono
10.	L-10	Rural and Urban Development	Djuanda Djoekardi
11.	L-11	Building Materials Demand Estimation ( I )	TAKAHASHI
12.	L-12	Building Materials and prospective of technology development ( II )	TAKAHASHI
13.	L-13	Building Materials Standard & Quality Control ( III )	TAKAHASHI
14.	L-14	Utilization of waste for building materials	Zulkarnaen Akse
15.	L-15	Kampung Improvement Program its role in the urban housing stock	Darundono
16.	L-16	Housing financing facilities for urban low & middle income groups in Indonesia	Prayogo Mirhad
17.	L-17	Estimation of housing stocks and flows IN THE Republic of Indonesia, in 1985	TAKAHASHI
18.	L-18	Housing finance 2 Part 2	NARAFU
19.	L-19	The small scale building materials industry in Indonesia	Z.A. Abbas
20.	L-20	The interrelationship between urban housing development scheme & building materials provider network	Ruswandi
21.	L-21	Data of field observation	Ruswandi, Budlono, Ishizaka, Inge K.
22.	L-22	Community participation in human settlement and housing development	Hasan Poerbo
23.	L-23	Land Readjustment and urban development	M. Hatta Ahadis
24.	L-24	Some notes on regional income potentials a case of Jakarta Province	DR. J.B. Kristiadi
25.	-	Interrelationship between local housing development scheme and building materials provision system	Ruswandi
26.	-	Rural Housing Areas, Urban Housing Areas, Community Participation	Djuanda Djoekardi

## LIST OF LECTURERS NOTE (1988/1989)

Appendix I

No.	Title	Author
1	Housing Policy in Japan	Toshikatsu IWAMI
2	Housing Supply Planning	K ISHIZAKA
3.	Case study on Metropolitan fringe development with focus on informal land subdivisions.	UN. - ESCAP
4.	Current Issues in Housing Finance.	The office of the State Minister for Housing.
5.	Rural & Urban Development (an Indonesian Case).	Djoeanda Djoe-kardi.
6.	Building Materials Development for Low Income Housing.	S.M. Ritonga.
7.	An Exercise for problem structure formulation & policy identification.	Utilizing KJ Method of Japan
8.	Urban Management.	Nini Kusumaat - madja.
9.	Building Material Quality Standards.	Z.A. Abbas.
10.	Introduction to K.I.P.	Darundono
11.	Paradigms in Housing Development.	P a r w o t o
12.	A Model for community based management project.	P a r w o t o
13.	Integrated approach to urban development in Indonesia.	P. Sidabutar
14.	The role of the private sector in housing development.	R.E.I.
15.	An overview of housing development policy in Indonesia.	Sardjono

- |     |  |   |
|-----|--|---|
| 16. | Some aspects of building materials.  | T. Nireki                                   |
| 17. | Housing finance in Indonesia   | Prayogo Mirhad                              |
| 18. | Community participation in housing.  | Sri Probo Sudarmo                           |
| 19. | Public participation in planning.  | WR.D.Jewell &<br>J.T. Coppock.              |
| 20. | The kampungs of Surabaya.  | Johan Silas                                 |
| 21. | Low income urban housing in the third world broadening the economic perspective.     | Dourglas Mc.Collum<br>and<br>Stan Benyamin. |
| 22. | An economic evaluation of low - cost building materials in the developing countries. | Y. TAKAHASHI                                |
| 23. | Development of long-term demand estimating methods of building materials.            | Y. TAKAHASHI                                |
| 24. | Building materials development for low income housing.                               | S.M. Ritonga.                               |
| 25. | Inputs to the seminar on community participation.                                    | Parwoto                                     |
| 26. | Housing types in Yogyakarta.   | Darwis Khudori.                             |
| 27. | The Case Study of PERUMNAS ANTAPANI Project  | Sukahar.                                    |
| 28. | Industry Dalam Case Study  | Indrameida                                  |



## APPENDIX I

## LIST OF LECTURER NOTES (1989/1990)

No.	Code	Title	By
1.	L-1	The Bandung Urban Development Project.	Sutikni Utoro
2.	L-2	Policies for Urban Development in Indonesia	Prajogo Padmowihardjo
3.	L-3	The Role of Public Sector in Housing Development.	Umar Komarraningrat
4.	L-4	National Housing Development Policy in Indonesia	Sardjono
5.	L-5	The Prediction of Housing Needs.	K. Ishizaka
6.	L-6	Human Settlements Planning.	T. Iwami
7.	L-7	Infrastructure Improvements for Low Income Groups by the Bandung Urban Development Project.	Sutikni Utoro
8.	L-8	Urban Spatial Development.	Mira Gunawan
9.	L-9	Space Use Survey & It's Application Some Materials for Discussion.	Dr. N. Morimoto
10.	L-10	Guided land Development. Concepts and some early efforts to implement.	Sri Probo Sudarmo
11.	L-11	Development of Long-Term demand estimating methods of Building Materials	Y. Takahashi
12.	L-12	Housing Paradigm	Parwoto
13.	L-13	Housing finance in Indonesia	Assistant for Housing Finance Office of the State Minister for Housing.
14.	L-14	Housing Finance in Indonesia	Soeharsono Sagir
15.	L-15	An Exercise for Problem Structure Formulation and policy identification by utilizing KJ method of Japan	H. Nagamine
16.	L-16	Data of Field Observation.	Budiono & Raynandi
17.	L-17	Community based development in Urban Management	Prof. Hasan
18.	L-18	Urban Development through Co-Development	Triaco Development Consultant
19.	L-19	Houses in Bali	Putu Darto
20.	L-20	Introduction to Housing in Yogyakarta	Atyanto Dharoko
21.	L-21	The K.I.P. of Surabaya Context, Methods and Result.	Johan Silas

LIST OF LECTURE NOTES : (1990/1991)

APPENDIX I

- |      |  |   |                          |
|------|--|---|--------------------------|
| L-1  | Housing Finance  | - | Lego Nirwhano            |
| L-2  | Bandung Urban Development Project  | - | Sutikni Utoro            |
| L-3  | The Role of Public Sector in Housing Development                                   | - | Umer Komaraningrat       |
| L-4  | Urban Planning Problems and Practices in Indonesia                                 | - | Myra P. Gunawan          |
| L-5  | Historical Sketch of Urban Development of Bandung                                  | - | Sri Rahayu B.U.K         |
| L-6  | Housing Development Policy and Action in Indonesia                                 | - | Alibasah Samhudi         |
| L-7  | Integrated Urban Development Policy  | - | Hendropranoto Suselo,MPW |
| L-8  | Integrated Urban Development Policy (transparances)                                | - | Hendropranoto Suselo,MPW |
| L-9  | Human Settlements Planning   | - | Toshikatsu IWAMI         |
| L-10 | Housing Situation and Policy in Japan  | - | Takashi KAWANAKA         |
| L-11 | Land Readjustment (Kukakuseiri) for Housing Experience of Japan                    | - | Tadashi MORITA           |
| L-12 | Guided Land Development Concepts and Some Early Efforts to Implement               | - | Sri Probo Sudarmo        |
| L-13 | Community Based Development in Urban Management                                    | - | Prof. Hasan Poerbo       |
| L-14 | IUIDP as a Condition to Promote Housing Development by Formal and Informal Sector. | - | Hendropranoto Suselo,MPW |
| L-15 | The KIP of Surabaya Context, Methods and Result                                    | - | Prof. Johan Silas        |
| L-16 | Introduction to Housing in Yogyakarta  | - | DR.Atyanto Dharoko       |
| L-17 | Houses in Bali   | - | Putu Darta               |
| L-18 | Data of Field Observation Samoja and Malabar                                       | - | Budiono                  |

- L-19 Appropriate Technology - *Dedi Suwandi P*
- L-20 Land Delivery System and Protection for the Poor - *Parwoto & F. Aziz*
- L-21 Housing Paradigm - *Parwoto*
- L-22 Testing and Evaluation of Wood Materials & Components for Platform Technique of Wood Frame Construction System - *Anita Firmanti Lovian*  
in cooperation with :  
*Masatoshi SATO*  
*Hiroshi ITO*
- L-23 Ratmakan - Yogyakarta - *DR. Atyanto Dharoko, Cs.*

## LIST OF LECTURERS' NOTES (1991/1992)

No.	Code	Title	Author
1.	L-1	The Role of private sector - housing development.	Ignesjz Kemala Warta
2.	L-2	Enabling Housing Policy	Sardjono
3.	L-3	Dynamic Planning	Soenardjono Danoedjo
4.	L-4	The Role of public sector - in housing development	Umar Komarranignrat.
5.	L-5	Perum Perumnas Housing Projects, implementation and strategies.	Sumuyup Srinate
6.	L-6	General Introduction to housing in Bali.	Putu Darta
7.	L-7	Japanese Housing Policy.	Shoziro Suda
8.	L-8	Locality of housing and disaster.	Hideyuki Kobayashi
9.	L-9	Housing Finance in Indonesia	Freddy Nazar
10.	L-10	Responsibility report of the simple house building accomplishment.	Boromeus Credit Union
11.	L-11	Situation and condition of - Kampung Lebak's Project Area.	Budiono
12.	L-12	Housing for Employees.	Hartini Sari
13.	L-13	The Bumi Serpong Damai Newtown.	Jo Santoso
14.	L-14	Housing in Surabaya.	Johan Silas
15.	L-15	Kampung Naga.	- Titi Utami - Johny Suprata

## LIST OF PARTICIPANT PAPERS (1987/1988)

No.	Code	Title	Author
1.	P-1	Country Report - Malaysia	M. Vivekananda Aminah Ismail
2.	P-2	Country Report - Thailand	C. Kotitakool
3.	P-3	Country Report - Sri Lanka	Don Dickson
4.	P-4	Country Report - Fiji Island	M. Ross M. Singh
5.	P-5	Country Report - Thailand	Viroj Rucheimsin
6.	P-6	Country Report - Philippine	Rizalde Mediavillo
7.	P-7	Country Report - Nepal	Sharad Regmi
8.	P-8	Country Report - Bangladesh	Nurul Huda
9.	P-9	Country Report - Indonesia	Ali Arifin, Cs
10.	P-10	Country Report - Pakistan	Muhammed Hamid Ullah
11.	P-11	Country Report - Thailand	Thailand Participant
12.	P-12	Integrated Housing development strategy in Indonesia.	Nurahma Treessani
13.	-	Mini Report	Group A
14.	-	Mini Report	Group B
15.	-	Mini Report	Group C
16.	-	Mini Report	Group D
17.	-	List of Participants	-
18.	-	Questionnaire	-
19.	-	Final Report	M. Hamidullah
20.	-	Final Report	M. Vivekananda
21.	-	Final Report	Sharad E. Regmi
22.	-	Final Report	Linda Muniarty
23.	-	Final Report	Ali Arifin
24.	-	Final Report	Asia
25.	-	Final Report	Nurul Huda
26.	-	Final Report	Don Dickson
27.	-	Final Report	M. Ross M. Singh
28.	-	Final Report	M. Abu Nasar
29.	-	Final Report	C. Kotitakool
30.	-	Final Report	Aminah Ismail
31.	-	Final Report	Enrique L. Cruz, Jr
32.	-	Final Report	Viroj Rucheimsin
33.	-	Final Report	E. Loane

LIST OF PARTICIPANTS' NOTES ( 1988/1989 )

Appendix II

No	Title	Author
1	Urban Housing IUIDP Approach	Yusman Yuliasi Alim
2	Boarding House Development for seasonal urbanist in central Java cities.	Joesron Alie Syah - bana.
3	Case study report summary.	Henry L. Yap.
4	Hawker boarding house improve - ment progam in Semarang city.	Joesron Alie Syah - bana.
5	Kampung improvement program Surabaya.	Tugas Husni Syarwanto
6	Housing conditions in Bali.	Putu Darta
7	The proposal of social settle - ments concept for urban low- income groups in Indonesia.	Ichsana S. Rukmie
8	Case Study.	Pudjo Koeswhoro
9	The kampung house.	Agus Indarto
10	Community development in the Bangkok Metropolitan.	Suwimol Chauchanwong
11	H U D C O - 1988	-
12	The role of women. in the kampung improvement programme.	Endah Yuswarini
13	General Housing in Malaysia.	Zaiton MD. NOH
14	Case study report.	Arlene P. Puzon Victor Balba.
15	National Government Center Housing Project.	Henry L, Yap.
16	Housing for the poor in Tamil Nadu India.	T.P. Kaliappan
17	Sri Lanka Scale, creativity & satisfaction through support.	Country Report
18	The growth of spontaneous settlements on Chinese Graveyard, Blimbingsari - Yogyakarta.	Wiryono Rahardjo

19	Resettlement start into a new life.	Yayasan Sosial Soegiyapranata Semarang.
20	Case study report.	J.K.D.D. Jayanetti
21	Housing development through peoples participation.	J.K.D.D. Jayanetti
22	Urban housing reform of China	Gao Xiao Hui
23	Case study: Tamansari Artists settlement Yogyakarta-Indonesia.	Ichsana S. Rukmie
24	Report on Finance (group)	P.R.Ramakhrisnan, Cs
25	Community Participation (group)	Agus Indarto, Cs
26	Making low-cost public housing popular and accessible to the urban low-income group (Group).	Kumar Prasad Lohani, Cs.
27	The new ideas for better public housing. (Group).	T.P. Kaliappan, Cs
28	Popular settlements development study policy & strategy towards beneficial equity by community participation (Group).	Nana Cahyana Mardio, Cs.
29	Urban housing strategy : IUIDP Approach.	Y u s m i n
30	Preliminary feasibility study on Indal development area ( Group ).	PR. Ramakhrisnan, Cs.
31	Design & Technology - A Strategy for accessibility of urban low - income groups to housing (group).	T.P. Kaliappan, Cs
32	Kampung improvement project in Surabaya.	Tugas Husni Syar - wanto.
33	The role of women in the KIP	Endah Yuswarini
34	The strategies & approach on development for Mangunhardjo settlements.	Pudjo Kuswhoero Yuliarso.
35	The growth of spontaneous settlements on Chinese Graveyard Blimbingsari-Yogyakarta.	Wiryono Rahardjo

- |    |   |                     |
|----|---|---------------------|
| 36 | Case study: Tamansari Artists settlements Yogyakarta.               | Ichsana S. Rukmie   |
| 37 | Housing Condition in Bali (The improvement of case study)           | Putu Darta          |
| 38 | Life change by preservation & conservation in Kampung Luar Batang.  | Nana Cahyana Mardio |
| 39 | Individual suggestion on the improvement of the country case study. | Arlene P. Puzon, Cs |
| 40 | Improvement of case study : Malaysia.                               | Zaiton. MD. NOH.    |



## LIST OF PARTICIPANT NOTES (1989/1990)

No.	Code	Title	By
1.	P-1	Alternative Architecture for Housing the Poor	Rudy P. Lilananda
2.	P-2	Provision of Housing and Settlements for the Low Income people in Pelita V.	Imam Hidayat
3.	P-3	Design and Technology on Housing Development for the Urban Low Income Groups	Anwar Pulukadang
4.	P-4	The Urban Low Income Housing-1983 (Pak Beca Pucang Sawit, Kotamadya Dati. II Surakarta).	Soewandi, FX
5.	P-5	Community Participants and Housing Strategies for Low Income Groups	Alberus S.M.
6.	P-6	Housing Strategies Policy and Problem Solving.	R. Soelistyo WS.
7.	P-7	Women's participation in Improving their Settlement.	Purwanita Setijanti
8.	P-8	Housing Strategies for urban low income group in Papua New Guinea.	Ludwig Maliha
9.	P-9	Planning & Development of Housing Construction for low and medium income communities.	Anwar Pulukadang
10.	P-10	The design concept of land-consolidation and Kampung Improvement Program the case study experiences of implementation in Rahayu-Samirono area, Yogyakarta	Agam Marsoyo
11.	P-11	Housing Provision for employee through cooperative system	Didiet Aries Ars.
12.	P-12	Republic of the Philippines.	Minerva Y. Calantuan
13.	P-13	Country Report	Jan Mohammed Khan
14.	P-14	Urban Housing Strategy in Sri Lanka	Samson W.A.D.
15.	P-15	Housing Strategies for the Urban Low-income Group.	Emma Cruz Ulep
16.	P-16	Community participation in development	Zuhanif Tolhas P.
17.	P-17	Housing Strategies for the Urban Low Income Problems in Myanmar	Lt.Col.Soe Lwin & U Kyaw Win.
18.	P-18	Community participation and Housing Strategies for low income groups.	Alberus S.M.
19.	P-19	The housing of Pucangsawit's low class citizens	FX. Soewandi
20.	P-20	Housing policy formulation and implementation	Mohammad Taib
21.	P-21	Housing Programme and Strategies for the Low Income Groups in the State of Perak (Malaysia).	Tuan Hj. Musa B Ahmad
22.	P-22	Land consolidation as a tool for development.	Guritno Soerjodibroto
23.	P-23	Problems, Experience and Strategies of low-income housing in urban development Bangkok's experience.	Natvipa Chalitanon.
24.	P-24	Housing Strategy Industri Dalam Area.	Group I
25.	P-25	Planning & Reconstruction of Cihampelas's area.	Group II
26.	P-26	Study case on Industri Dalam Area, Bdg.	Group III
27.	P-27	General Outline for the development of Cihampelas area	Group IV
28.	P-28	Community Participation Group	Members of Groups.

LIST OF PARTICIPANTS NOTE : (1990/1991)

APPENDIX II

- |      |  |                                    |
|------|--|------------------------------------|
| P-1  | Preliminary Study of Urban Renewal   | - Rizon Pamardhi Utomo             |
| P-2  | Case Study Kemayoran Urban Housing Development and Renewal Project   | - Edhi Kusdianto                   |
| P-3  | Summary of Myanmar's Case Study Report   | - U Min Thein                      |
| P-4  | The National Government Centre Housing Project (NGCHP)   | - Acela Charito M. Badiola         |
| P-5  | Evaluation of Walk-Up Flats in Indonesia from the Residents Acceptance (Dweller Response)                  | - Nur Fizili Kifli                 |
| P-6  | Community Participation and Credit Loan in K I P Area  | - Deddy Mulyadi<br>Tony Soelarsana |
| P-7  | From Slums Areas to a New Settlement with Cooperative Efforts  | - Hary Wahyono                     |
| P-8  | Land Tenure Security Program for the Low Income Groups in Bangkok  | - Ubalwan Suebyubon                |
| P-9  | Present Conditions of Tanah Abang Walk-up Flats after Its Occupation                                       | - Dharmawaty Adianto               |
| P-10 | Country Paper of Bangladesh  | - Abu Md. Fakhruddin               |
| P-11 | Reducing House Costs   | - Bulu Perioni                     |
| P-12 | Housing Reforms in Socialist Economics   | - Yukun Wang                       |
| P-13 | The Dynamics of Housing Finance in China   | - Yukun Wang                       |
| P-14 | National Housing Corporation of Guinea   | - James Ian Tanby                  |
| P-15 | Urban Shelter, Urban Infrastructure and Land Administration from the Perspective of Urban Low Income Group | - Radzi B. Darus                   |
| P-16 | Addressing the Country's Housing Problem through community Participation                                   | - Acela Charito M. Badiola         |
| P-17 | Housing Scenario and Dallu's case Study  | - Hemant Arjyal                    |

- P-18 Housing for Urban Poor Pakistan Canvas - *Maqbool Ilahi*
- P-19 General Low Cost Housing Background in Western Samoa - *Rapati Paepae Aiono*
- P-20 The Building Arrangement in the Housing and Settlement Sector - *Ery Saptaria Achyar*
- P-21 Housing Strategies for Urban Low Income Group in India - *Satish Kumar Harish*
- P-22 Design & Technology + Housing Finance - *Group*
- P-23 Community Participation - *Group*
- P-24 Re-adjustment of Landuse and Improvement needed for Samoja Residential Area Bandung - *Group II & III*
- P-25 Low Income Housing Development in Indonesia - *Group I & IV*

## APPENDIX II

## LIST OF PARTICIPANTS PAPERS (1991/1992)

No.	Code	Title	Author
1.	P-1	Community participation in the kampung improvement program, - Central Java.	Tjahjono
2.	P-2	The observation of the use of building materials at housing people type 45 in Prenggan - Kotagede - Yogyakarta.	Ahmad Sarwadi
3.	P-3	Mass housing production by Perum Perumnas past experience & future opportunities.	Tumpal Siagian
4.	P-4	Fishermen Settlements Improvement Development Strategies. Case of Surabaya City, Indonesia.	Endang Titi Sunarti
5.	P-5	Re-arrangement in the slum area. Case Study : Industry Dalam - Area Bandung.	Arvi Argyantoro
6.	P-6	Squatter problem and improvement programme in Kuala Lumpur Malaysia.	Sukiman bin Surahman
7.	P-7	The problem of housing and its measure in Shanghai	Shengmei He
8.	P-8	Concept of housing.	Padmalal Shreshtha
9.	P-9	Housing in Papua New Guinea	Stoarford T. Amevo
10.	P-10	Country Report on Housing - Strategies for low income - groups.	Marylinda C. Amba
11.	P-11	Housing conditions in - Bangladesh.	Syed Ali Akbar
12.	P-12	A case study report on - community action planning - in support based Housing.	Neela Piyaseeli - Gunasekera.
13.	P-13	The reality of urban renewal. The policy of rental housing/ flat.	Hadi Santoso

- |     |  |   |
|-----|--|---|
| 14. | P-14 Housing conditions and housing policy; housing problems and measures to solve them. | - Nasimul Hassan -<br>Usmani.<br>- Mohammad Shaukat |
| 15. | P-15 Country programme on housing development works in Myanmar.                          | Nwe Ni Nyut   |
| 16. | P-16 The development and improvement of lodging houses in Malang.                        | Harini Subekti                                      |
| 17. | P-17 Housing conditions and housing policy of Thailand.                                  | Vipat Chamkrajang                                   |
| 18. | P-18 Housing Situation Constraints and approaches in Nagaland - India.                   | Medozho Zango                                       |
| 19. | P-19 The Role of Government in Human Settlements Development.                            | Pangihutan Marpaung                                 |

-----oo-----

MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN THE EVALUATION TEAM AND THE AUTHORITIES OF THE  
GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA ON THE THIRD  
COUNTRY TRAINING PROGRAMME IN THE FIELD OF HOUSING STRATEGIES  
FOR URBAN LOW INCOME GROUPS

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiroshi Murakami, visited the Republic of Indonesia from February 12 to February 21, 1992 for the purpose of evaluating the training course in the field of Housing Strategies for Urban Low Income Groups (hereinafter referred to as "the Course") at Research Institute of Human Settlements, Agency for Research and Development, Ministry of Public Works (hereinafter referred to as "RIHS") under the Third Country Training Programme of JICA which has been carried out since the Japanese fiscal year of 1987.

During its stay in Indonesia, the Team had a series of meetings with the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia with respect to the progress and achievement of the Course.

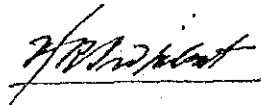
As a result of the meetings, both parties shared the view that the Course has contributed to the development of knowledge, skills and experience in the field of Housing Strategies for Urban Low Income Groups in Asian and Pacific region.

A list of the attendants to the meetings is attached as APPENDIX I. An outline of the meetings is attached as APPENDIX II.

Bandung, February 17, 1992

村上 博

Mr. Hiroshi Murakami  
Leader of The Japanese  
Evaluation Team,  
Japan International  
Cooperation Agency (JICA)



Mr. H. R. Sidjabat  
Act. Director of Research  
Institute of Human  
Settlements(RIHS),  
Agency for Research and  
Development,  
Ministry of Public Works,  
The Republic of Indonesia

## CONTENTS

APPENDIX I LIST OF ATTENDANTS

APPENDIX II SUMMARY REPORT

- I. Background
- II. Methodology of Evaluation
- III. Evaluation
  1. Course Needs
  2. Attainment of Course Objectives
    - (1)Inputs
      - a. JICA input
      - b. Indonesian input
    - (2)Outputs
      - a. Accepted participants
      - b. Attainment of objectives
  3. Adequacy of Initial Plan
    - (1)Course Objectives
    - (2)Duration
    - (3)Qualification and Applicants
    - (4)Number of Expected Participants and Invited Countries
    - (5)Curriculum
    - (6)Lecturers
  4. Administration and Management
    - (1)Implementing Measures by SETKAB
    - (2)Course Conduct
      - a. Lecturers
      - b. Training facilities and equipment
      - c. Training materials
      - d. Reconsideration of curriculum
- IV. Conclusion and Recommendation
- V. Others

Annex I THE COMPARISON OF NUMBER OF APPLICANTS  
AND SELECTED APPLICANTS

Annex II LIST OF SHORT TERM EXPARTS DISPATCHED BY JICA

## LIST OF ATTENDANTS

## JAPANESE SIDE

Mr. Hiroshi Murakami	Leader of the Japanese Evaluation Team, Deputy Director, First Training Div., Training Affairs Dept., Japan International Cooperation Agency (JICA)
Mr. Shuji Mukunoki	Deputy Director, Urban Building Div., Housing Bureau, Ministry of Construction
Ms. Akiko Kaise	Staff, First Training Div. Training Affairs Dept., JICA

## INDONESIAN SIDE

Mr. H. R. Sidjabat	Act. Director, Research Institute of Human Settlements (RIHS), Agency for Research and Development, Ministry of Public Works
Mr. Zulkarnaen Aksa	Head, Administration Div., RIHS
Mr. Victor Leander	Head, Documentation and Dissemination Div., RIHS
Mr. Alex Lumanauw	Chief, Publication and Library Sub. Div., RIHS
Mr. Amari Raksaprawira	Chief, Data Processing and Reporting Sub. Div., RIHS
Ms. Lien Wewengkang	Staff, Documentation and Dissemination Div. for Scientific Cooperation, RIHS
Mr. Budiono Sundaru	Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering, RIHS
Mr. Johny F. Subrata	Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering, RIHS
Mr. Didiet Arief Akhdiat	Staff, Housing Environment and Sanitary Engineering, RIHS
Mr. Duddy D. Kusumo	Staff, Administration Div. for Foreign Affairs, RIHS



## SUMMARY REPORT

## I. Background

1. Recognizing the growing needs for trained technical officials in the developing countries, the Government of the Republic of Indonesia initiated the training course in *Housing Strategies for Urban Low Income Groups* at Research Institute of Human Settlements, Agency for Research and Development, Ministry of Public Works under the Third Country Training Programme of JICA in the Japanese fiscal year of 1987 .
2. The Course has been conducted once a year for the past five years by the Government of Japan under its technical cooperation scheme.
3. The purpose of the Course is to disseminate knowledge, research findings in the field of Housing Strategy for Urban Low Income Groups to the participants

## II. Methodology of Evaluation

Evaluation was made for the following four items.

1. Course Needs
2. Attainment of Course Objectives
3. Adequacy of Initial Plan
4. Administration and Management

## III. Evaluation

## 1. Course Needs

Judging from the application situation, the needs for the Course have been great since its inception. The number of applicants and selected applicants is shown in ANNEX I.

## 2. Attainment of Course Objectives

Attainment of course objectives could be evaluated in view of inputs by both governments and outputs of the

Course.

(1) Inputs

a. JICA input

-Budget

JICA has furnished the Indonesian side with the fund necessary for the invitation of overseas participants such as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums, as well as the expenditure for operating the Course such as honoraria for external lecturers, arrangement of meetings and study tours, teaching aids, expendable supplies, copies and reprints, and secretarial services. The total operational cost borne by JICA summed up to about ¥57 million.

-Japanese experts dispatched

Under the five-year programme of the Course, JICA has dispatched 13 short term experts as lecturers in the field of housing.

Their names and duration are shown in ANNEX II.

-Provision of equipment

The sum of ¥700,000- of equipment such as a sound system has been provided by JICA.

-Counterparts trained in Japan

JICA has accepted 5 Indonesian counterpart personnels for training in Japan.

b. Indonesian input

-Budget

State Cabinet Secretariat (hereinafter referred to as "SETKAB") and RIHS have taken budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Courses excluding the expenses financed by the Government of Japan. The total operational cost borne by SETKAB and RIHS summed up to about 93.5 million Rupiah.

-Assignment of lecturers and other staff

RIHS has assigned an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course.

-Provision of facilities and equipment

RIHS has provided its facilities such as accommodation, classroom, as well as procured and maintained training materials.

## (2) Outputs

### a. Accepted participants

On the average, 20 participants were accepted to the Course annually. The accumulated number is 100 for the past five years.

### b. Attainment of objectives

#### -Objectives to be attained

At the end of the Course, the participants are expected to be able to refresh and update knowledge and practical experience in the field of housing development strategies for urban low income groups, and to exchange views, information, and practical experience on housing and building materials, development strategies in an effort to improve housing conditions in the participating countries.

#### -Degree of attainment

Pre and post-evaluation test (paper test) was not carried out to grasp the effect of the training in this field. However, it could be concluded that from the results evaluated by the JICA experts, RIHS, and the participants, the degree of the attainment marked very high. It may be necessary to find out the better evaluation methods for degree of achievement. But according to the questionnaires filled out by the participants, 90% of them expressed that the main objectives were met.

## 3. Adequacy of Initial Plan

### (1) Course Objectives

Based on the degree of its attainment, it can be concluded that the setting of the course objectives were adequate.

### (2) Duration

One month were scheduled for the Course. This period is considered to be appropriate.

### (3) Qualification for Applicants

In R/D, applicants for the Course are;

- a. To be nominated by their Governments,
- b. To be university graduates or equivalents,
- c. To have practical experience of more than five years in the field of housing,
- d. To be at least twenty five years of age in principle,
- e. To have a good command of spoken and written English,
- f. To be citizens of the nominating countries, and,
- g. To be in good health to complete the Course.

(4) Number of Expected Participants and Invited Countries

Judging from the number of the applicants in the past five years, the number of expected participants from the invited countries is considered to be adequate, however, the number of participants from the invited countries has been accepted less than the expected number mainly due to disqualification.

(5) Curriculum

The level, coverage of subjects, time allocation to lectures, discussions, exercises, and observations are judged to be adequate.

(6) Lecturers

RIHS has assigned an adequate number of technical and administrative staff as lecturers with good command of English.

4. Administration and Management

(1) Implementing Measures by SETKAB.

In organizing and implementing the Course, SETKAB has taken the following measures;

- a. To forward the General Information brochures (G.I.) of the Course to the Government of the invited countries through its diplomatic channels,
- b. To receive application forms and forward them to RIHS,
- c. To notify the selection of participants to the respective Governments through its diplomatic channels and to the JICA Indonesia Office,
- d. To arrange international air tickets for overseas participants and to meet and see them off at the airport,

and,

- e. To arrange accommodations for participants.

Those measures have been followed effectively in the past five years.

#### (2) Course Conduct

##### a. Lecturers

All the lecturers had enough knowledge and technique suitable for the purpose of the Course and a good command of spoken and written English.

##### b. Training facilities and equipment

Lecture rooms equipped with audio visual aids, laboratories, had been prepared for the participants. But the number of reference books in English to study housing technique is not sufficient.

##### c. Training materials

Training materials such as resume, overhead projector, slide projector and video set were used frequently for the Course.

##### d. Reconsideration of curriculum

The curriculum of the Course has been reconsidered every year to increase the training effect in reflecting the result of evaluation for each year's course.

#### IV. Conclusion and Recommendation

Based on the evaluation, both parties recognized that the intended purpose of the Course has been successfully achieved as planned in R/D. As a result of the meetings, the following items are suggested by the team to improve a future course.

1. The number of RIHS's lecturers should be increased.
2. The contents of a future course should include also the technological aspect of housing development.
3. The new laboratory facilities and equipment of RIHS should be utilized more effectively.

4. The course materials in English including reference books should be well prepared.
5. More consideration should be put on preparatory procedure for a future course, regarding countries to be invited.

#### V. Others

During the meeting, RIHS has requested the followings;

1. The proposals for future courses entitled "Earthquake Disaster Prevention for Building Engineers", and "Integrated Technology for Housing Strategies" should be realized as early as possible.
2. The priority is put firstly on implementing both courses mentioned above even by reducing the necessary expenses, and secondly on implementing one of the two courses preferably "Earthquake Disaster Prevention for Building Engineer" .

The Team will convey the above requests to the authorities concerned.



JICA